

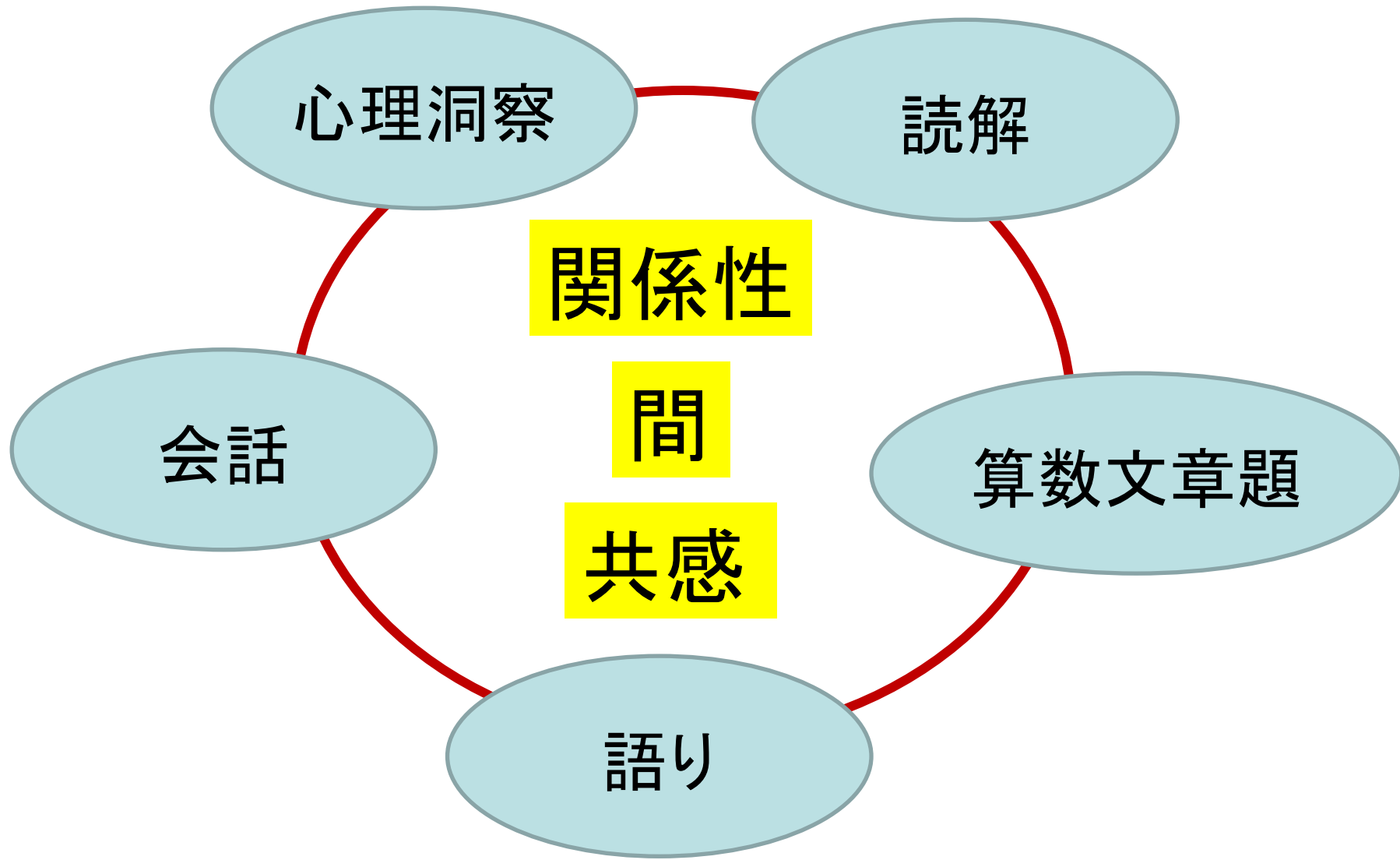
2012年3月 ことばのテーブル学習会

キーワードから考えることばの学習(8)

～「語り」について考える～



言語・学習指導室
葛西ことばのテーブル
三好純太



今回のキーワード

主題性

変化と因果関係

解釈性

共有性

時間の表現

社会的存在

語りとは何か

「語り」とは

ナラティブ (narrative)

物語行動

事実でも空想でも、時間的に連続した出来事を、順序づけ、関連づけて、言うもの

子どもにとっての「お話」

「語り」ではないもの

質問—応答 「昼、食べた?」「まだ」

挨拶 おはよう／いい天気だね

説明 赤いリボンが結んである。

感想・感情 すごいなあ／おいしい!

報告 1時間目は国語、2時間目は・・・

「語り」にはどのようなものがあるか

★自分の経験の語り

★鑑賞した作品の語り

★創作した物語の語り

★自分の経験の語り(見聞)

今日の3時間目にね、体育があったの。それで、ドッチボールやってたんだけど、くみちゃんという女の子がね、怪我しちゃったの。男の子の投げたボールが、顔に当たって、くちびる切っちゃったんだよね。それで、くみちゃん、すぐ保健室に行って、消毒してもらったの。でも、もどってきて、また普通に、ドッチボールやったんだよ。

★自分の経験の語り(主体験)

この前の土曜日に、ライオン公園に、ひとりで行ったの。それで、ブランコで遊んでたら、知らない女の子が来たの。最初は、べつべつに遊んでたんだけど、その子が話しかけてきて、とちゅうから、いっしょに遊んだの。その子、ボールも持って来てて、サッカーしたんだよ。その子ね、ひろみって名前で、今度、引っ越して来たんだって。

★作品の語り

あるところに、おじいさんと、おばあさんが住んでいました。ある日のことです。おじいさんは、山へ芝刈りに、おばあさんは、川にせんたくにいきました。

おばあさんが、せんたくをしていると、大きなモモが流れて来ました。

★創作の語り

あるところに、小さな女の子がいました。その女の子は、深い森の奥の、小さなおうちに、たったひとりでくらしていたの。女の子の家にはね、犬がいっぱいいました。茶色い毛の長い犬です。

語りの力を育てたい

なぜ語りが大切なのか

語りには、どんな力が必要か

語りをどのように学べばよいか

「語り」を学ぶ

- 生活経験を素材として語る
- 学習教材を素材として語る

●生活経験を語る

- 1日の出来事を語る
- 遠足など特別な出来事を語る

日常コミュニケーションに直結し、また、語り手の生き生きとした情感が伴う



語りを育てるための基本的な課題

●生活経験を語る

学習としての難点

- ・内容が、子ども任せ（偶然の産物）
- ・記憶想起の難しさ
- ・語り手と指導者とは、経験が共有されていないことが多い
- ・内容が長尺で複雑なことが多い



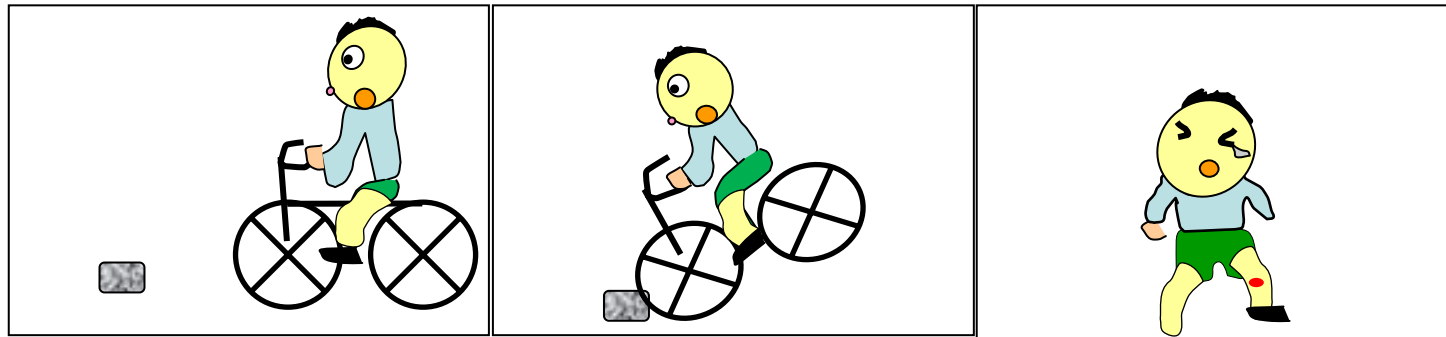
子どものレベルに応じた学習や、文章表現などについて計画的な設定が難しい

● 学習教材を素材として語る

- ・鑑賞した物語のストーリーの語り

▲ 高度な課題

- ・系列絵の語り

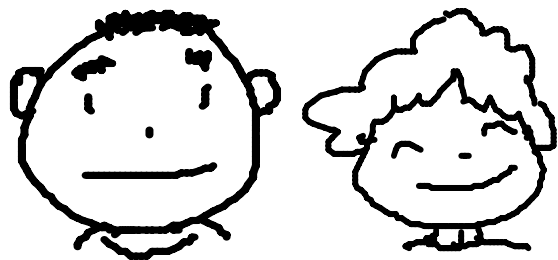


▲ 絵画表現の限界

親しみやすく、また多様な内容で
取り組める課題は？

10秒映画

語りの学習を目的として制作した教材



10秒映画

- 10秒～20秒程度の映像

- * 簡単な短い語りのための素材

- ストーリー展開を持つ

- * 設定—展開—帰結(オチ)の流れ

- 内容の言語化(語り)を前提

- * 語りにおいて、キーとなる
単語や文法の設定

10秒映画の目的

- 「作品」を鑑賞する
 - * 「作品」概念の形成を促す
- 語りの能力を育てる
 - * 短い時間の中で、出来事を体験し、その文章化を促す
 - * 「作品」を関心を持って視聴し、その言語化に能動的に取り組む

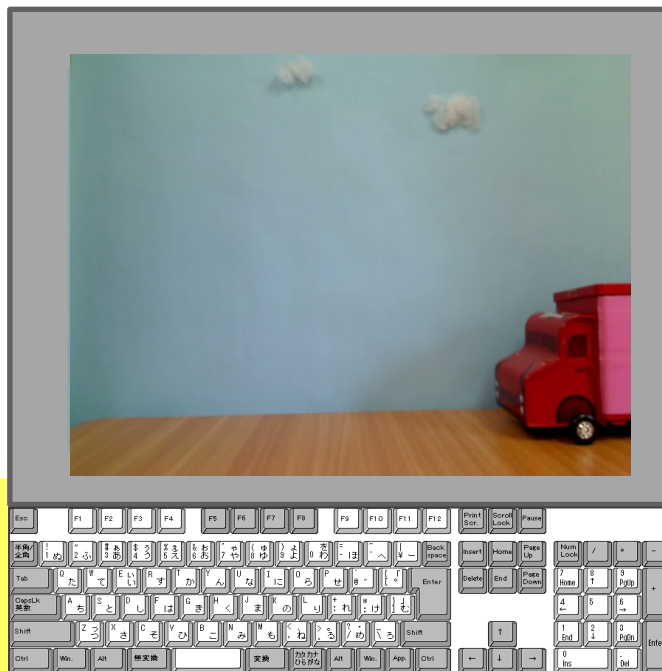
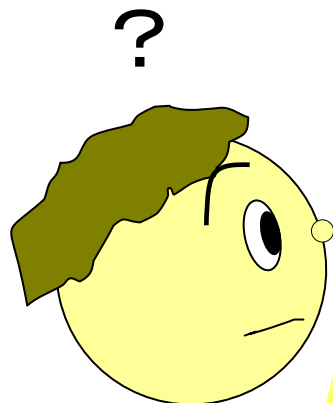
10秒映画:「本」



10秒映画の 実施方法

映画の視聴

まず、**いっしょに**
映画を観る



さあ、
はじまったよ

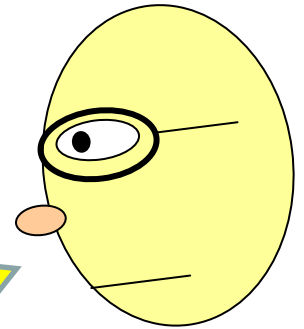
文章化させる

① 題名(タイトル)をつける

んーっと…
「トラック」



じゃ、おはなしに
してみよう。
まず、タイトルは、
何にしようか



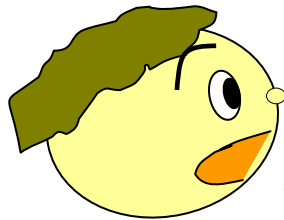
ストーリーの集約化

文章化させる

②内容を文章化させる

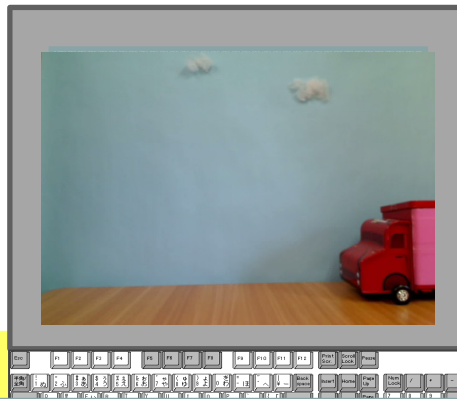
文を文字化

* パソコンに打つ

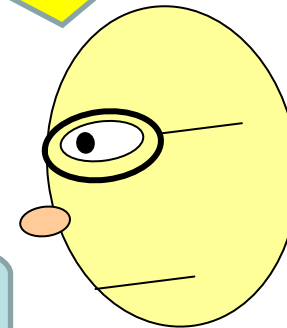


えーと・・・トラックが、
とまりました。

ストーリーの語り



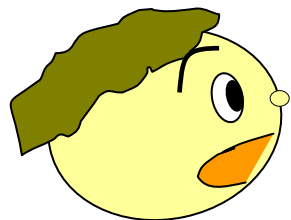
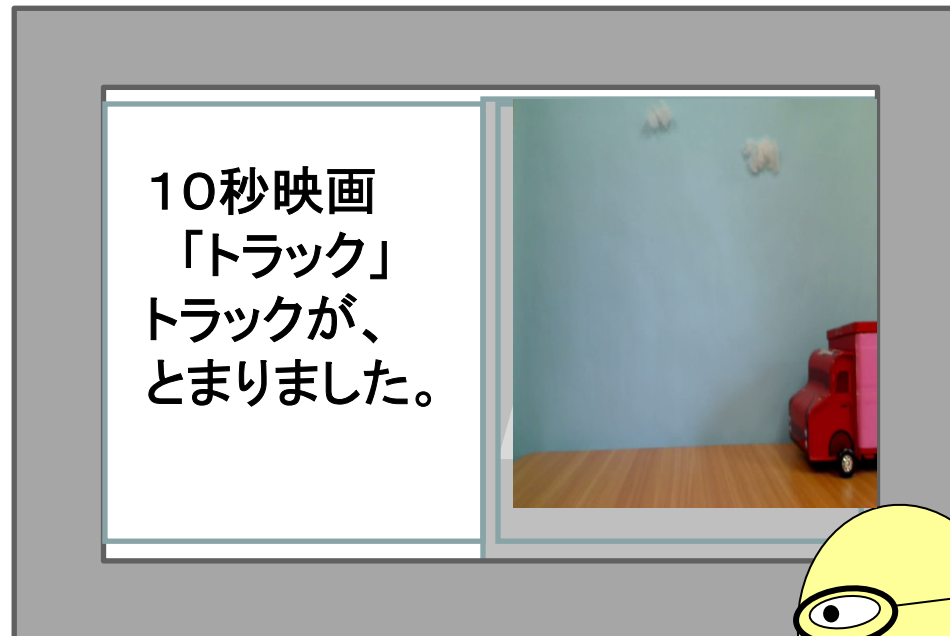
じゃ、おはなしに
してみよう。
まず？..



文章化させる

ことばのテーブルでの 実施方法

- ノートPCの
モニターに
2分割呈示



えーと…
トラックが、
とまりました。



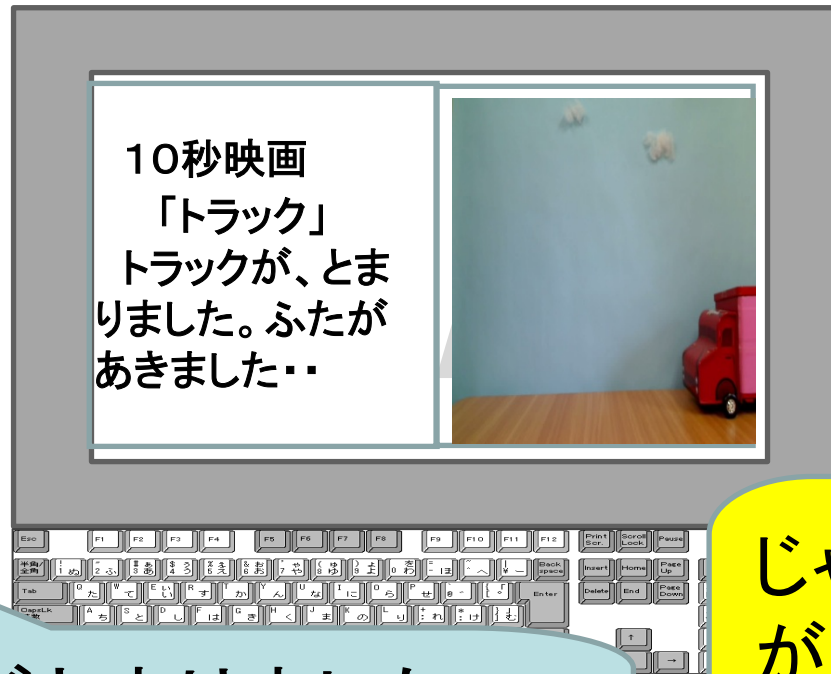
口頭で
作成させ
た文章を
代行入力

ナレーション

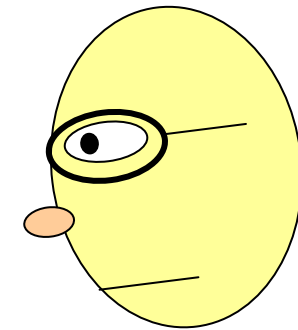
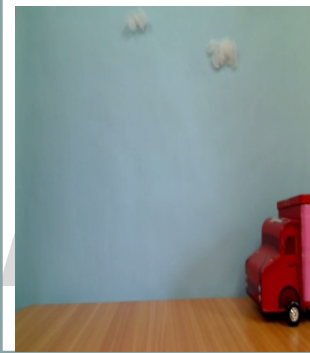
文章化した内容を、映像に合わせて語る



トラックがとまりました。
ふたが、開きました・・・



10秒映画
「トラック」
トラックが、とま
りました。ふたが
あきました・・・



じゃ、映画を見なが
ら、ナレーショ
ンしてみよう！

語りとは、どのようなものか

語りとは、どのようなものか

語りを
特徴づけ
るもの

- 主題性
- 変化・展開性
- 解釈性
- 完了性
- 能動性
- 共有性

語りの特徴

● 主題性

★経験の語り

今日の3時間目にね、体育があったの。それで、ドッチボールやってたんだけどくみちゃんていう女の子がね、けがしちゃったの。男の子の投げたボールが顔にあたって、くちびる切っちゃったんだよね。それで、くみちゃん、すぐ保健室に行って、消毒してもらったの。で、もどってきて、また普通に、ドッチボールやったんだよ。

この語りの核となるもの

背景(前提)

学校の体育

中心的事柄

くみちゃん

出来事の推移

ドッチボール
→ 怪我
→ 復帰

主題

変化

語りには主題がいる

学校の体育 における

くみちゃん

主題

何を中心にすえるか

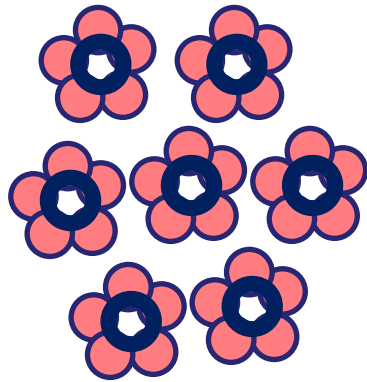
主題が形成されていなければ
語りはできない



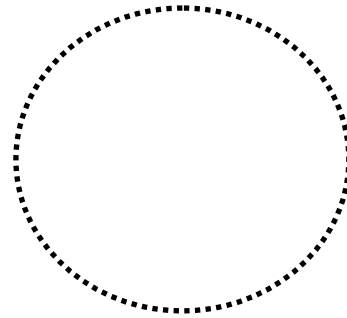
語りをするためには

特定の物事・事態に注目して、
それに注意を向け続ける必要

算数文章題における主題の未形成



おだんごが3こありました。



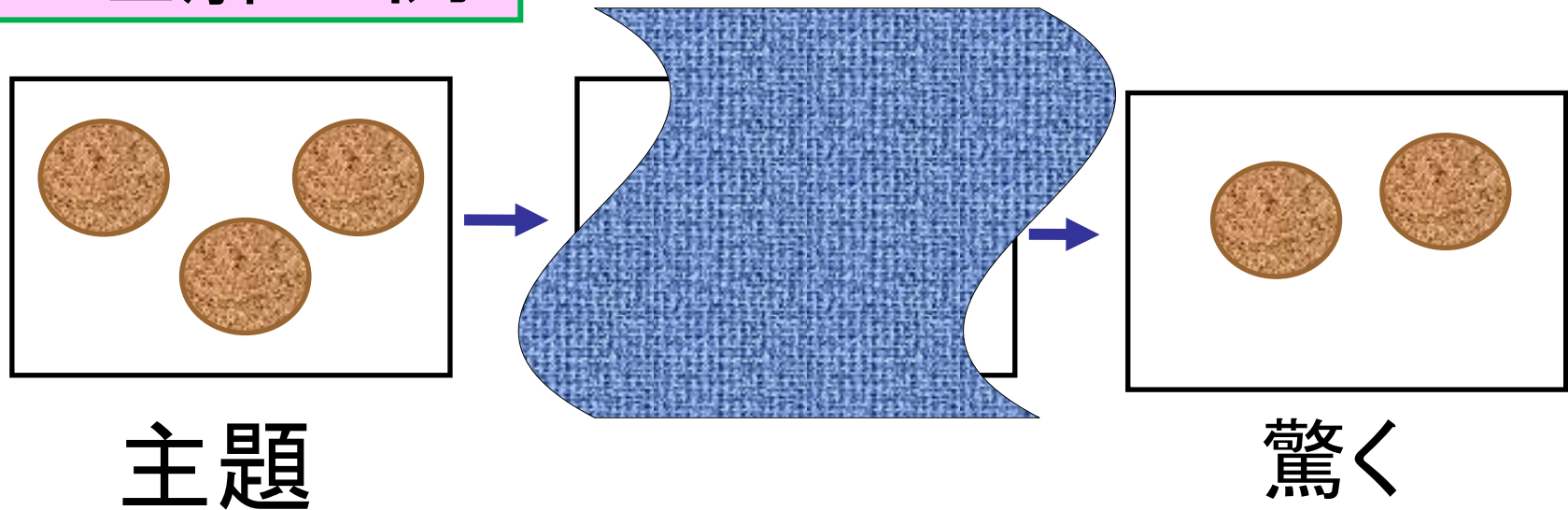
問題のフィールド
(主題)ができあがる

1こ、たべました。

主題性がなければ、問題になりえない

主題性の獲得は、
乳児から段階的に始まっている

数の理解の例



成長とともに、より高度な主題性が認識

発達障害の子どもは 主題性意識が弱い

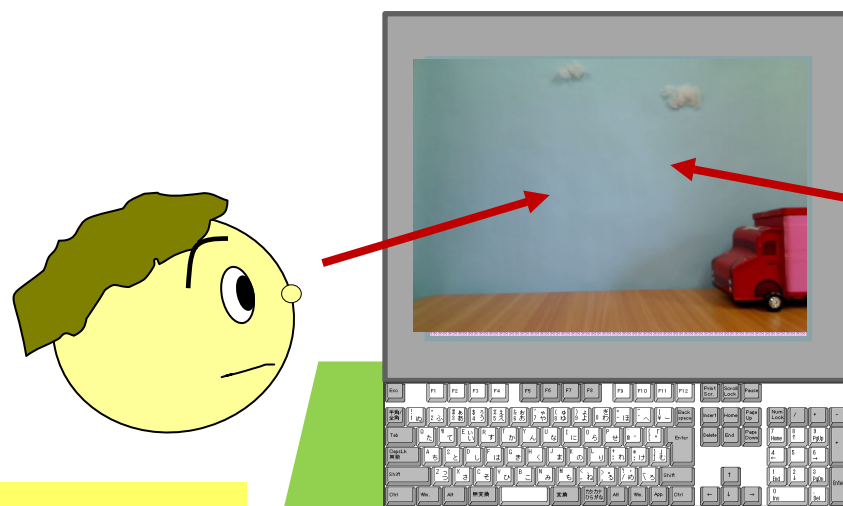
★注意の維持の難しさ

★共有性の乏しさ

いま、このことに
いっしょに、注目
しようよ！

10秒映画

作者により意図的に作成された
はっきりとした**主題**を持った映像



主題性意識の
形成を促す

共同注意

いっしょに、注目
しよう！

主題性意識を育てるために

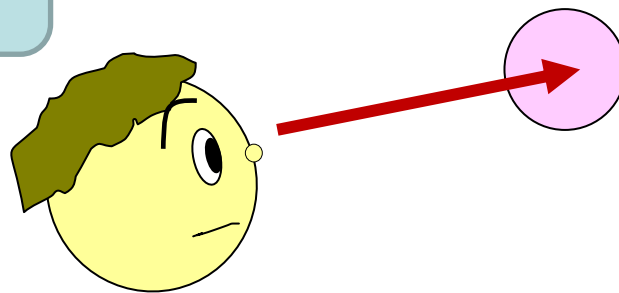
- 事態の抽出能力を高める

- 事物の分析的認識を進める

●事態の抽出能力を高める

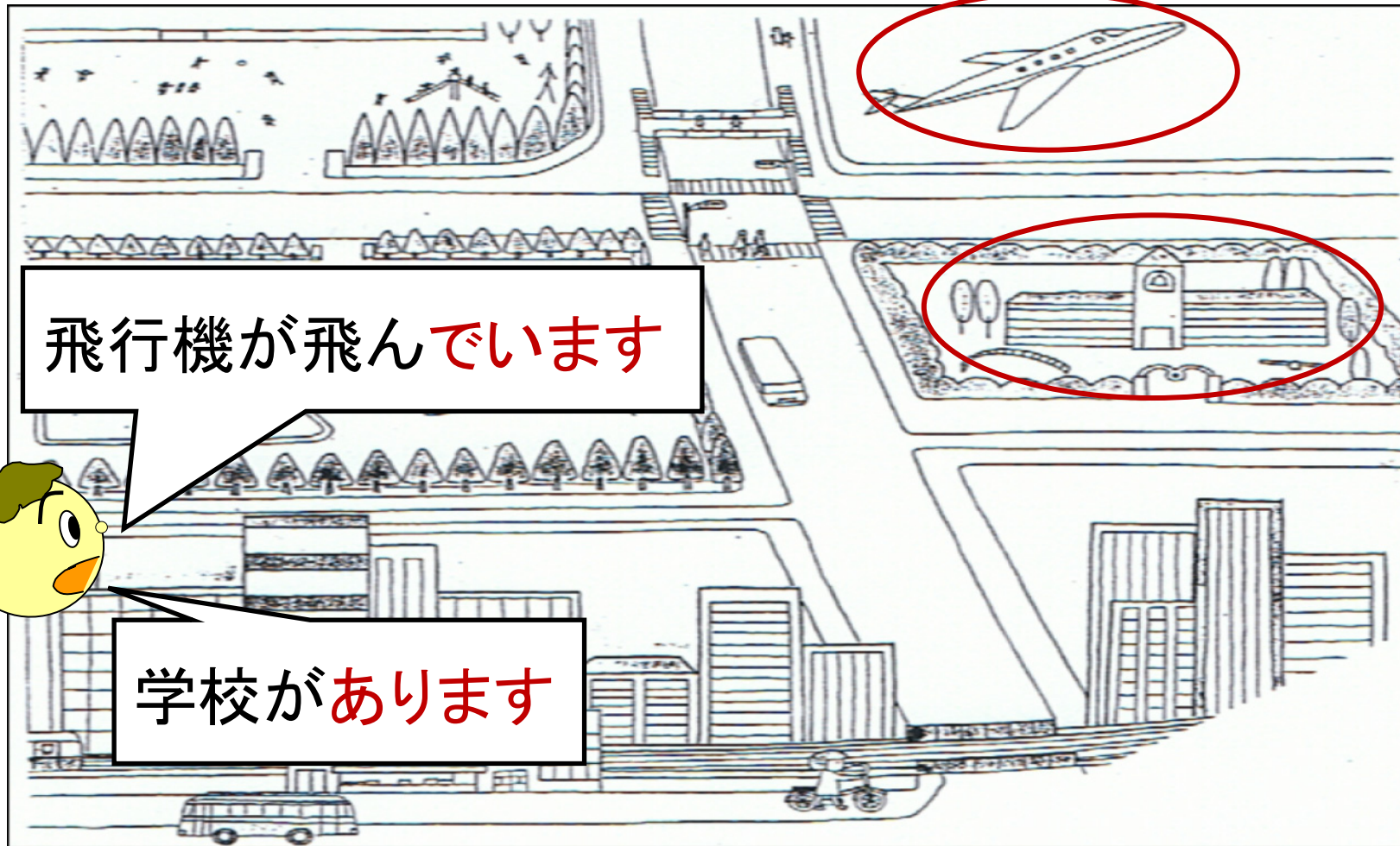
さまざまな状況の中から
能動的に、特定の事態を選びとる

これに
注目しよう！



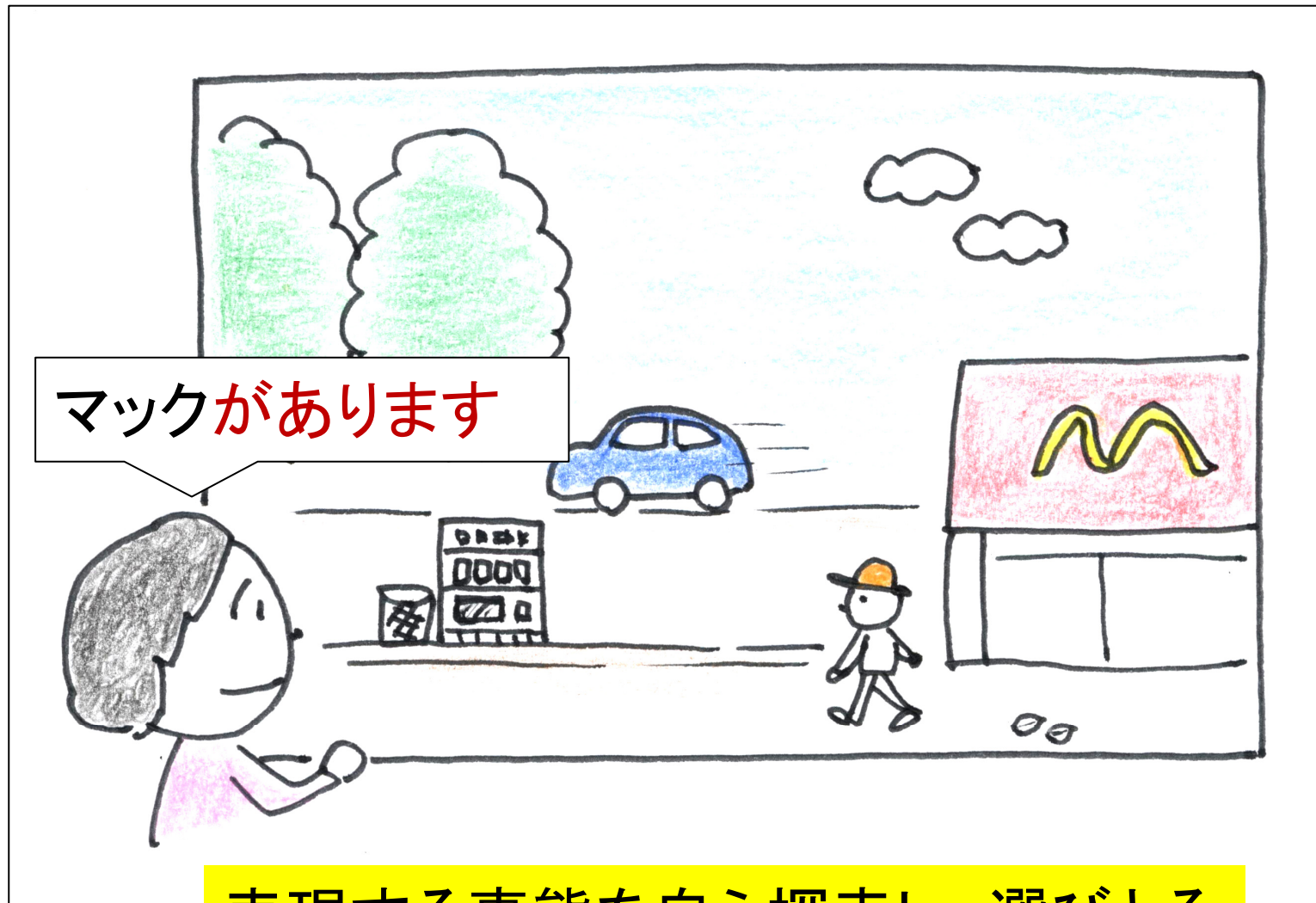
1枚絵の叙述練習

「絵を見てお話しよう」



表現する事態を自ら探索し、選びとる

外を見てお話を作ろう

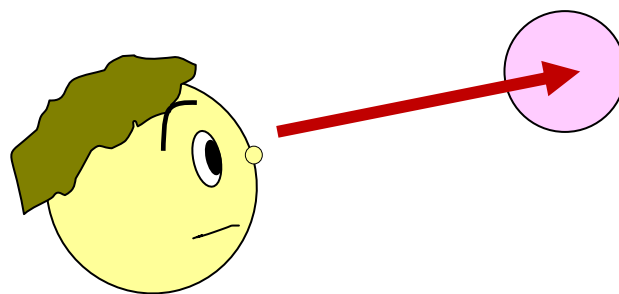


表現する事態を自ら探索し、選びとる

● 事態の分析的認識を高める

選び取った事態の中に、どのような要素が含まれているかを認識する

よく
見てみよう！



その事態は、どのような要素をもっているか



車が止まっ
ている



青い車が止
まっている



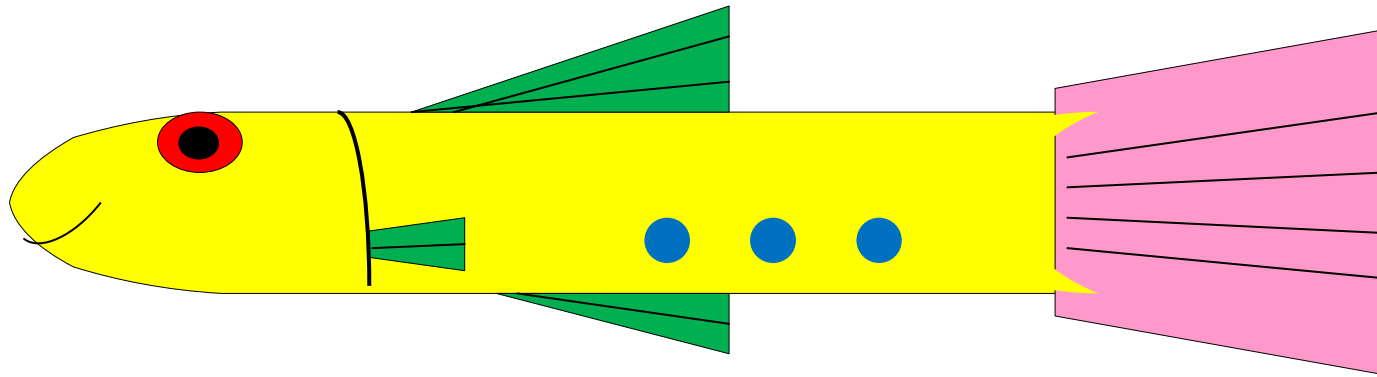
青い車が1台
止まっている

より豊富に語る



より輪郭の明確
な主題性を持つ

事物の状況を多様に語る練習



- 目が赤い
- 体が細長い
- ひれが緑
- しっぽがピンク
- 体に青い点が3個ある
- 口が笑っている
- ・・etc

語りの特徴

● 変化・展開性

語りには変化(展開)がある

くみちゃん

ドッチボール
→ 怪我
→ 復帰

変化

語りとは、変化を取り出して
時間順に述べて行くもの



変化に注目できなければ
語りはできない

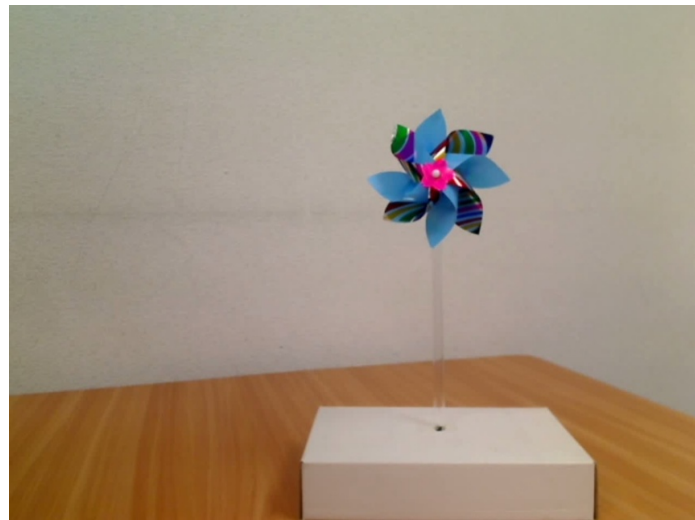
語るべき内容を持ってない

10秒映画 「風車」



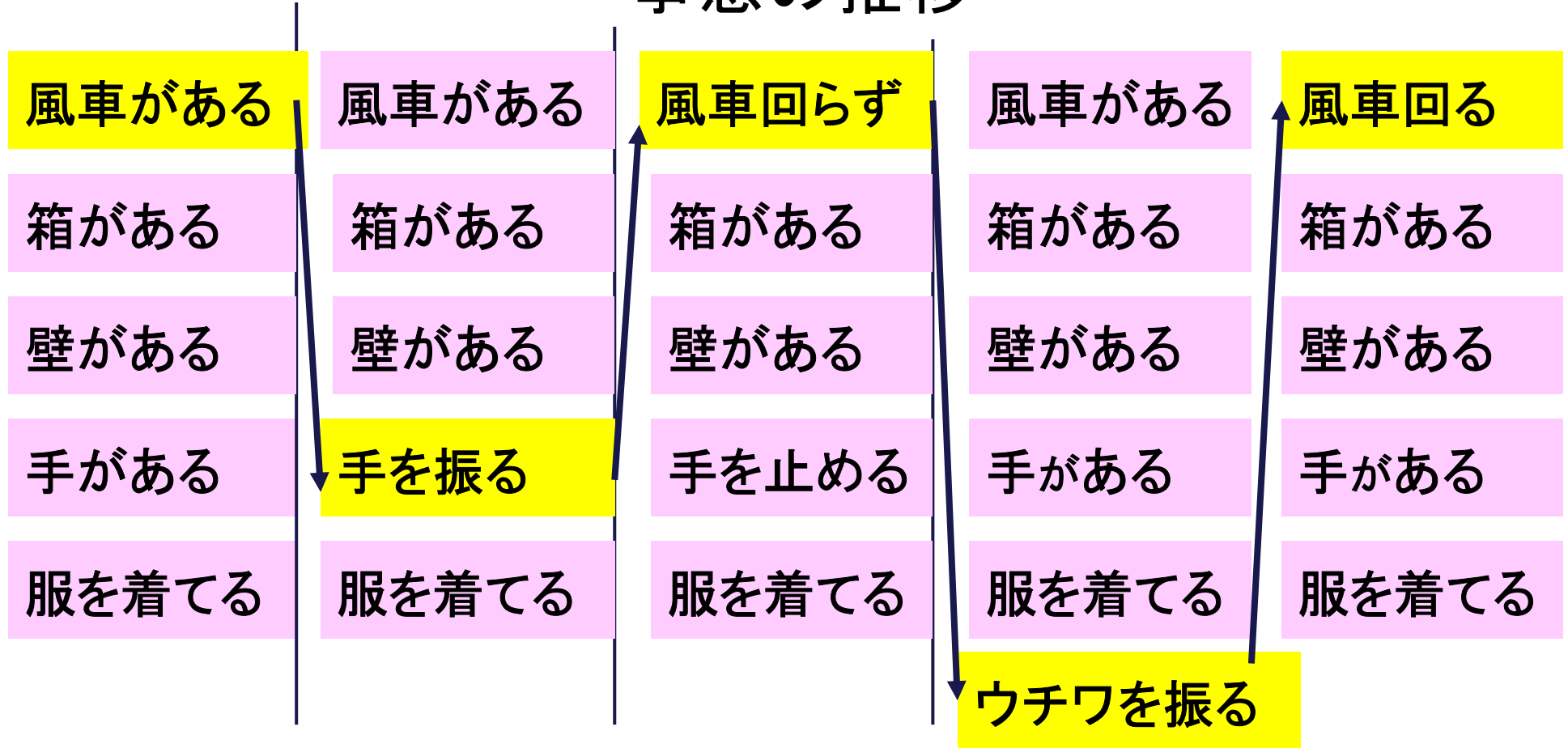
風車がありました。手をパタパタ振ってみましたが、風車は回りません。こんどは、ウチワで、あおいでみました。すると、風車は、クルクルと回り出しました。

10秒映画
「風車」



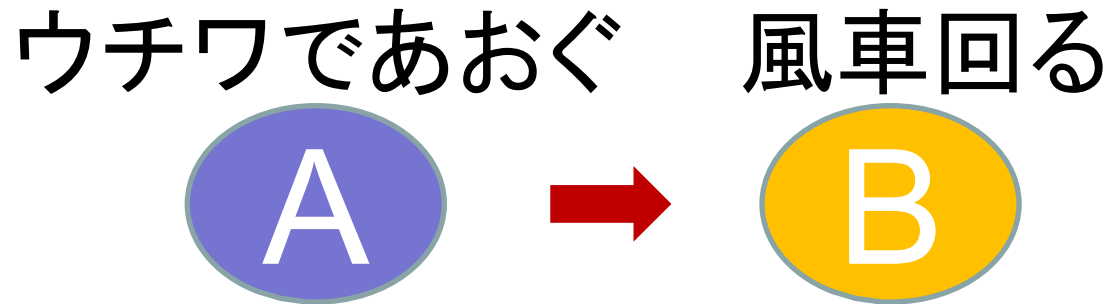
10秒映画:「風車」

事態の推移



変化に注目して、つながりを追う

変化は多くの場合、何かの作用によって引き起こされる



Aという出来事とBという出来事の間には、因果関係がある

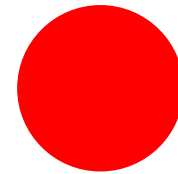
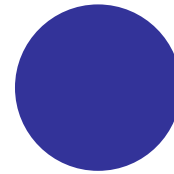
変化は関係である

変化を捉えるには、風車一手一ウチワの間に、**関係性**を見出さなければならない

因果関係を捉えて、状況の中から、
展開(筋書き)を浮かび上がらせる

求められる能力

● 注意力



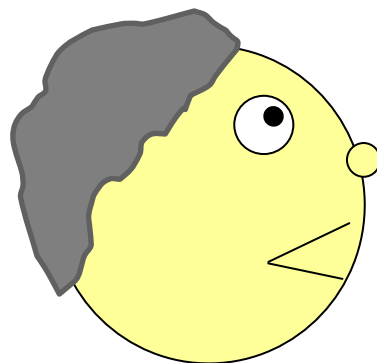
● 記憶力

● **推測力** (状況を推し測り、意味付けする)
* 発達障害、とくに自閉症の人に乏しい

語りの特徴

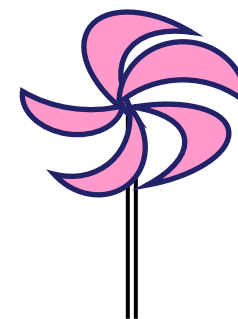
● 解釈性

ウチワをあおいだから
風車が回ったんだ



手 風車回らず

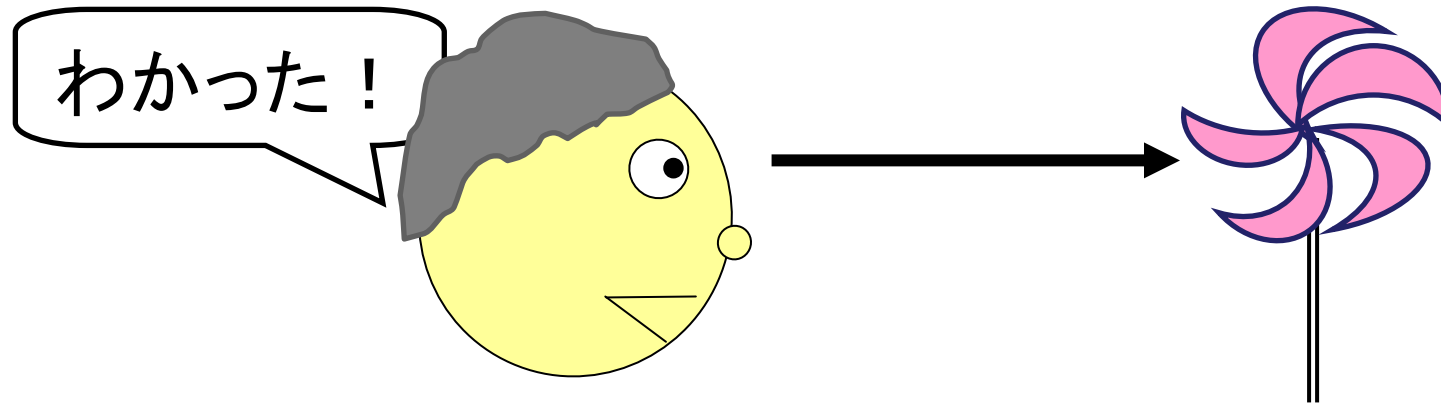
うちわ 風車回る



因果関係を推測して、事態を**解釈**する

自分なりの判断を下す

(語りは) 行為や出来事を、その目的や
動機、意図、信念、感情、価値などによって、
位置づけて**解釈する** (荻野より)



一連の出来事を、
ぼく は、こう捉えた！

ストーリーは、
語り手の心が
紡ぎ出したもの

10秒映画の例:「魚」



小さな魚が泳いでいました。すると大きな魚が、やってきました。小さな魚は、あわてて、岩のかげに、かくれました。

小さな魚の心理（感情）を
解釈している

大きな魚

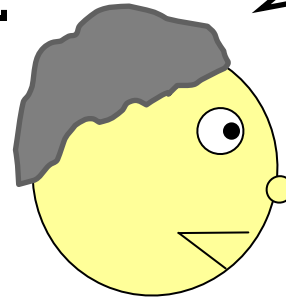


こわい...

ある意味で、語りは、すべて創作

A B C D E F G

経験素材



A B D E G F

語りの内容

認識した素材を再構成



話に整合性を持たせる

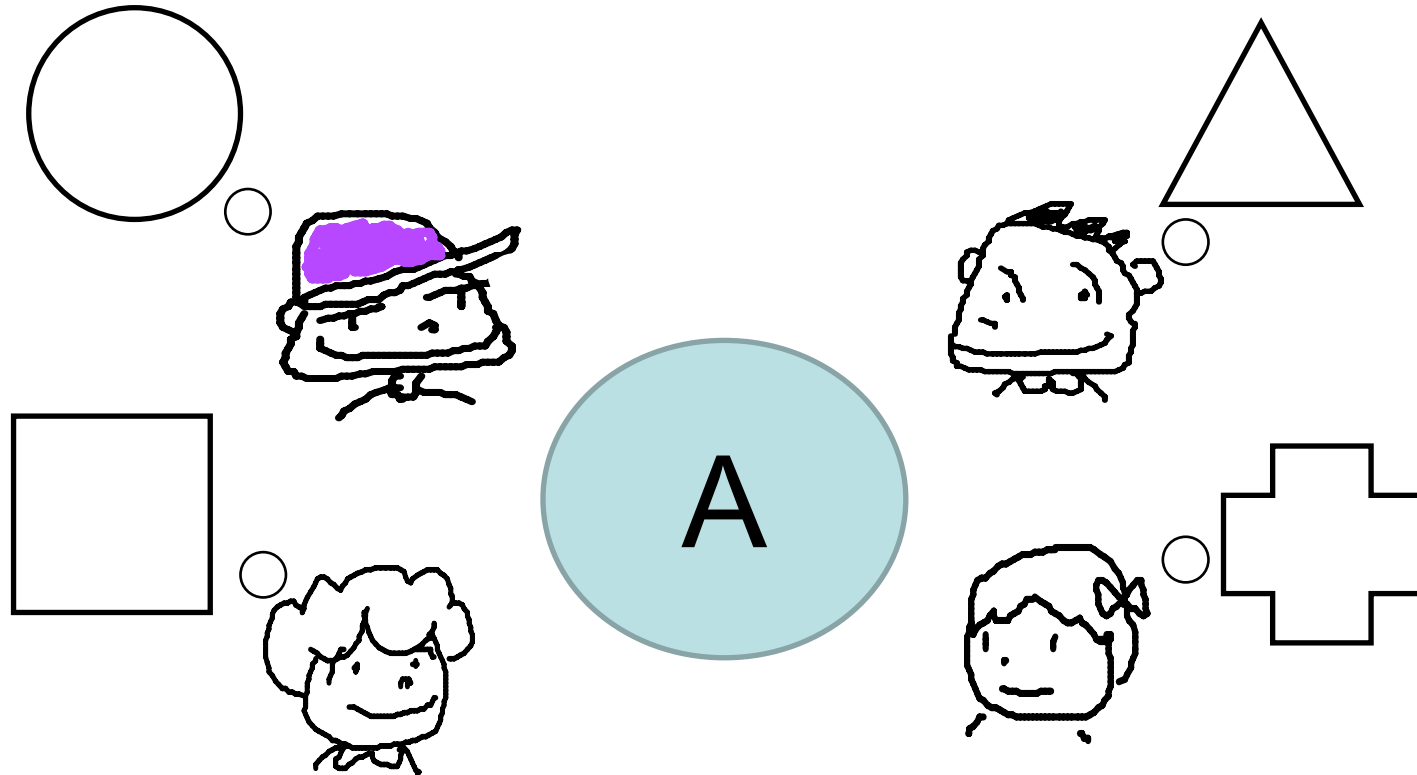
♥都合のいいように語る

映画監督
の役割

編集作業

記憶力だけで、語りはできない

解釈の異なり



複数の「真実」を生み出すことがある

発達障害の子どもの持つ問題

● 解釈力の乏しさ

- 推測能力の不足
- 知識の不足

● 解釈意欲の乏しさ

- 意味化傾向の希薄さ

● 解釈の共有性の乏しさ

- 視点のズレ
- 特異な感覚傾向

語りの特徴

●完了性

●完了性

語りの内容は、完了している

すべてが完了した時点から、
過去を振り返って述べる

事態認知視点

事態の推移

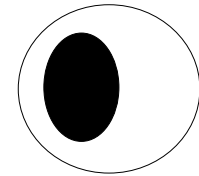
風車が
ある

手を
振る

風車
回らず

団扇を
振る

風車
回る



視点

出来事がすべて完了した時点から、
時間をさかのぼって、回想して行く

だから、表現は、日本語では、
過去形が基本となる

10秒映画:「車」

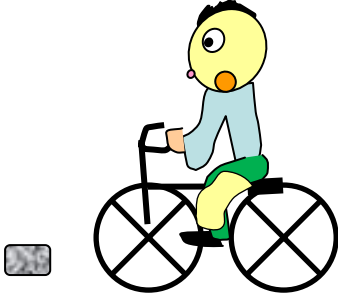
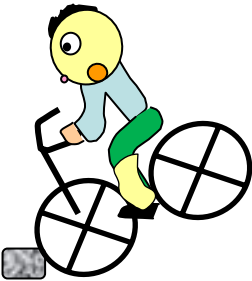



青い車が止まっていた。緑の車が通りすぎました。それから、白いバスが通りすぎました。さいごに、赤い車が走って来て、青い車にぶつかりました。

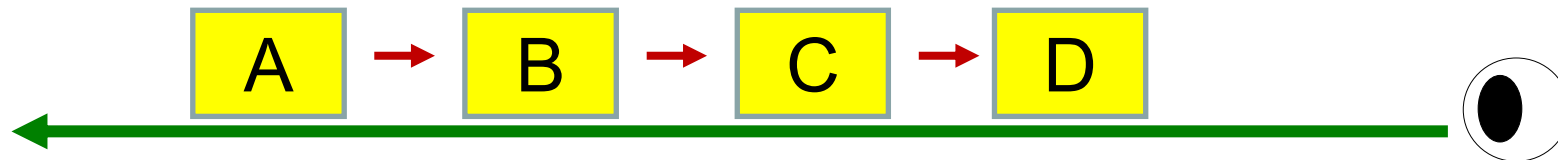


子どもは、発達の中で、
過去形の語りを獲得する

「系列絵の説明」

	● 2才児	● 3才児	● 5才児
	うわ、 いしだ！	男の子が、 自転車に のっています。	ある日、男の子 が自転車に のっていました。
	あ、ぶつ かっちゃっ たよ！	自転車が、 いしに、 ぶつかった。	よそみしてたら、 石にぶつあっ てしまいました。
	いたいよー	男の子が、 いたくて なっています	けがをして、 男の子は泣い てしまいました。

プラン機能



事態認知視点

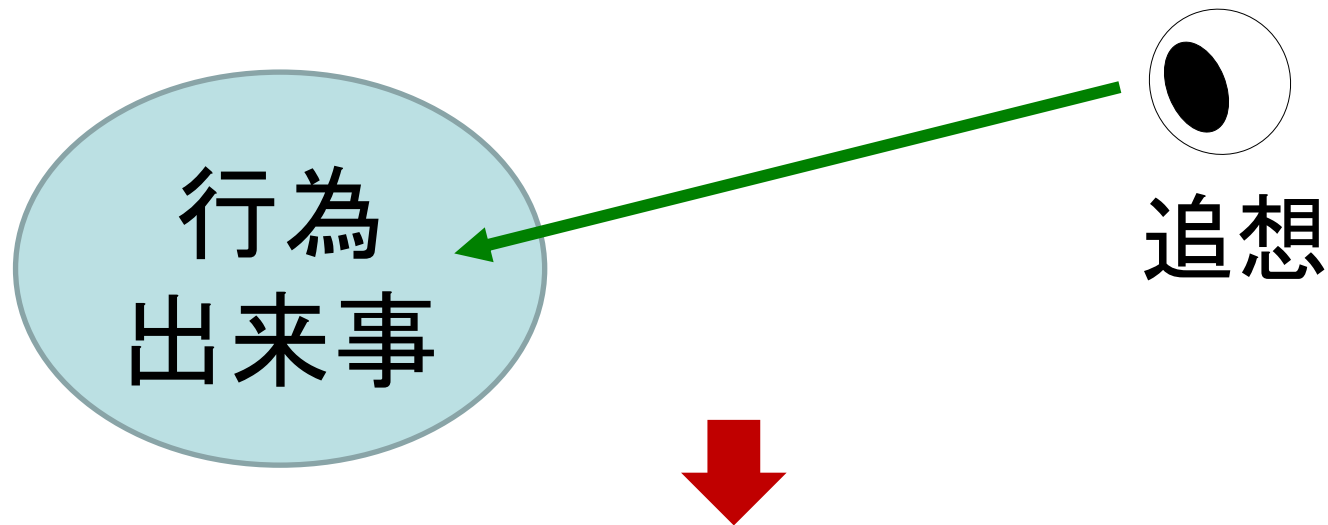
5才頃から、出来事をすべて完了した時点から、再構成して行く能力が備わる

- 自分の語りの計画(プラン)を練ることができるようになる

起承転結／難題一解決
などの物語技法の運用始まる

語りの完了性の持つ意味

行為や出来事を、現場実況ではなく、
過去から引いて見る



冷静な第三者的視点の形成

トラブル場面の語り

わたしは、ゲームセンターの入口のところで、立っていたんです。そうしたらとつぜん、だれかが、わたしに、後ろからぶつかりました。びっくりして、振り返ったら男の子が、倒れていたんです。その子を起こそうと思って体にさわったら、きゅうに、わんわん泣きだしてしまいましたんです。

トラブル場面の語りで求められるもの

- 状況の冷静な観察と描写
- 自己に対する第三者的な視線

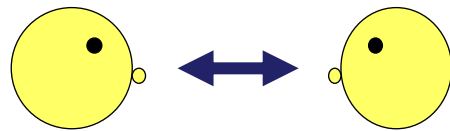


十分なプラン機能が求められる

語りの特徴

● 能動性

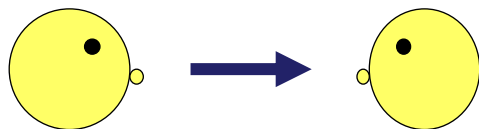
会話



* ターン(話者交代)を持つ

話題転換・内容修正が
行われやすい

語り



* 一人が、一方向的に行うもの

語りは、語り手に委ねられる行為

素材を、注意深く、検討・編集し、発端から終結まで、途切れることなく、語り切らなければならない **責任性**



なぜ語るか？

語ろうとする強い意欲・動機がある

★語りには**能動性**が不可欠

人は、なぜ、語るのか？

語りは、だれもがする自然な営み



当たり前のこと

自然な営みのものこそ、
多くの意味と意義が含まれている

人は、なぜ、語るのか？

ブルーナーら

「生きて行く過程で出会う、行為や出来事について、自分で、納得し、了解し、意味づけするため」

ぼくのしたことは、
こんなことだったんだ



内田

「人に説明したり、物語ることにより、自分の考えや気持ち、行為が客観化され、冷却されされる」

人は、なぜ、語るのか？

面白いから 楽しいから 娯楽

面白さ、楽しさ、驚きや悲しみ、美味しさなどの感情を、人は、人と共有したいという、本質的な欲求がある

人間は、「共感」することを、いつも、強く希求している

★「共感」を求める心が、語り原動力

語りの特徴

● 共有性

語りにより「共感」を得るには



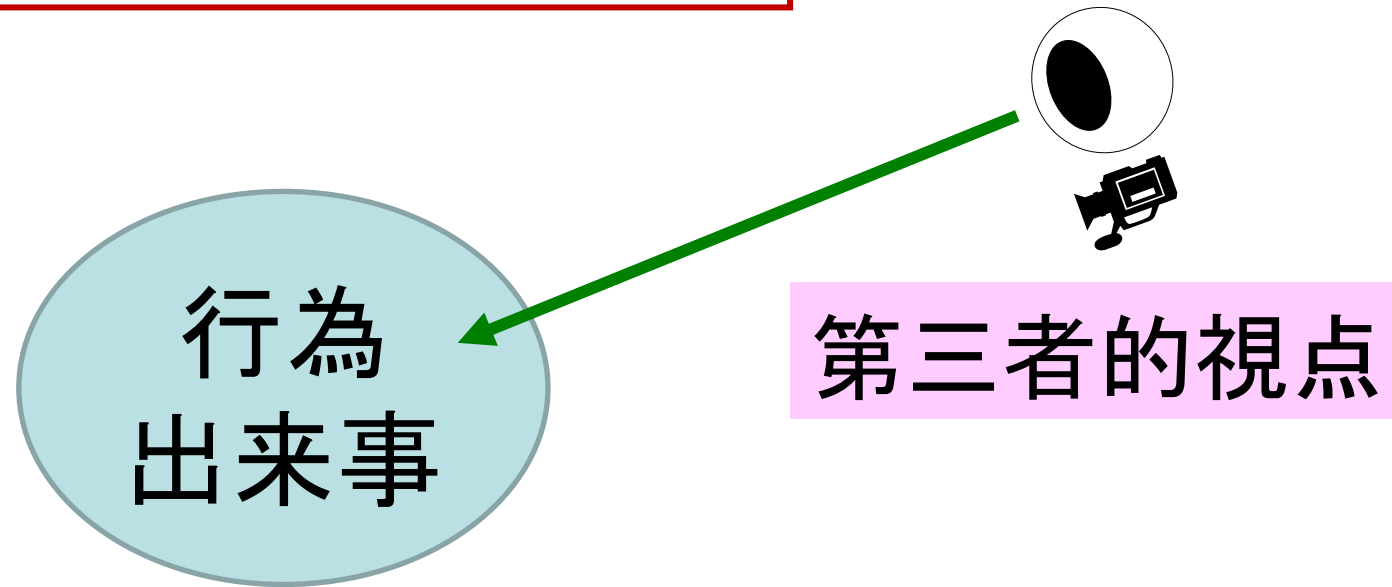
聞き手が、語りの内容を理解できなければならない

行為や出来事を知らない聞き手が、わかるように、話さなければならない

★語りは、共有性を持っていないなければならない

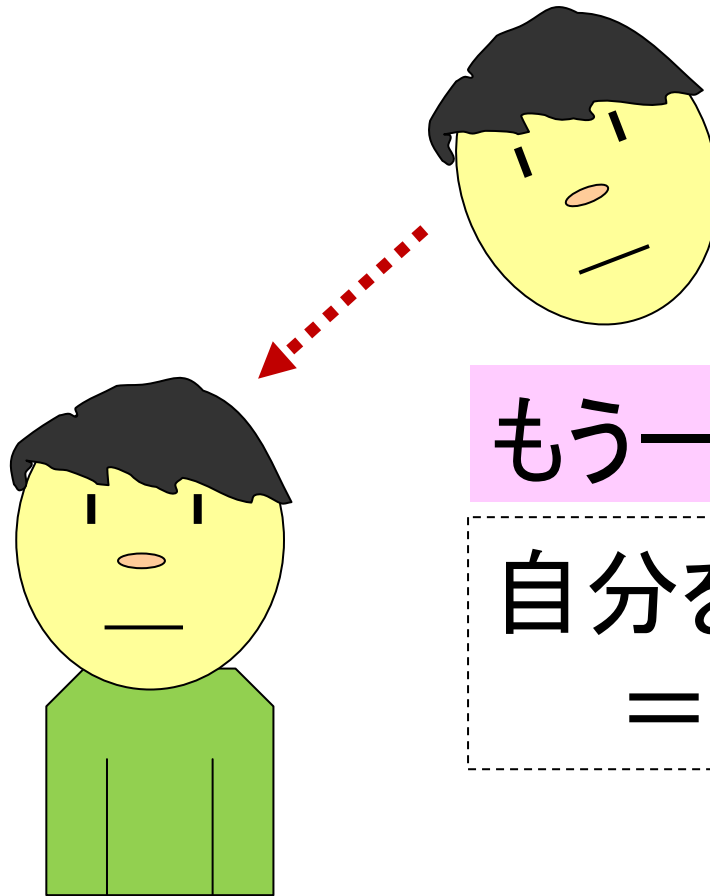
共有性を持ちえるためには

中立的・客観的に語る



行為や出来事から
距離を置かなければならない

自分が主体の事柄であっても、自分を
外側から見て語らなければならない

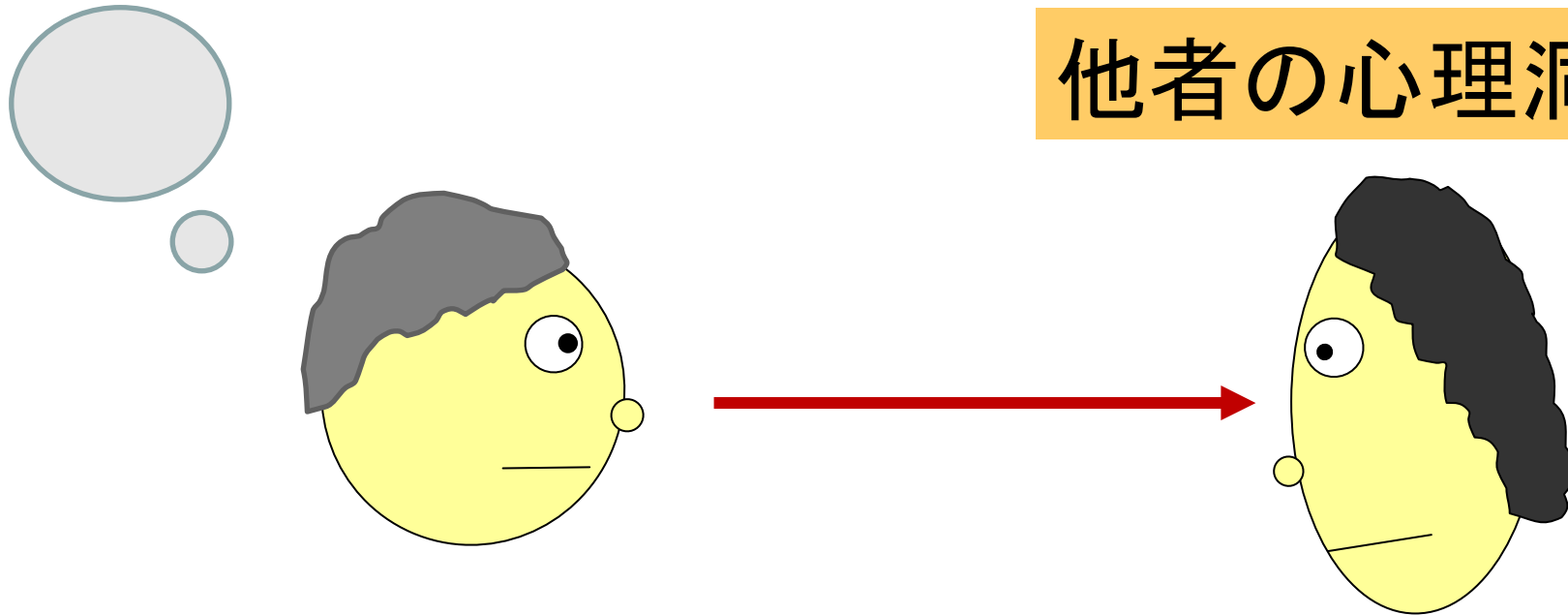


もう一人の自分

自分を分析する
= 自己洞察

聞き手のこころの状況の洞察も不可欠

他者の心理洞察



聞き手は何を知っていて、何を知らないか

* 何を述べて、何を述べなくていいか

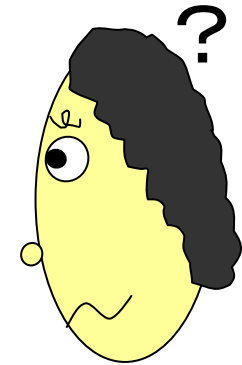
モニター機能

* 発話を監視し、チェックする機能

4才児：自分の話の辻褄が合わなくても平気

5才後半：自分の語りの状況への
チェックが働き始める

- 内容がおかしくないか。
- 相手にちゃんと伝わっているか



語りにおける文・文章の特徴

語りは

聞き手に対する新たな情報伝達

だから

- 省略が少ない
- 正確・適切な文



会話との異なり

子どもの発話分析研究から(ワグナー)

◆対象: 4~5歳の言語発達遅滞の子ども

会話と語りにおける発話内容を比較



- 語りの方が、会話より、長い文を表出
- 語りの方が、会話より、多様な言い回しや文法表現が見られた



語りは、長く複雑な文の表出を必要とする

語りを伝えるためには、だれもが理解できるように、**文章**で、適切に、不足なく、状況を表現しなければならない



求められるもの

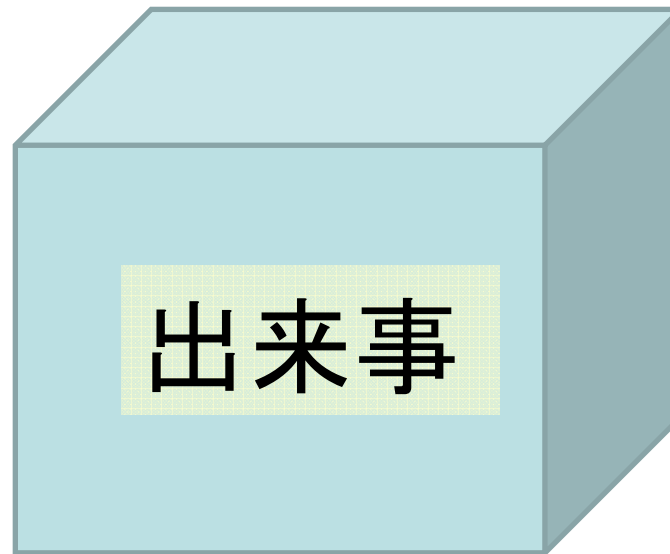
- 語彙能力
- 文法能力
- 文章構成力

表現能力

語りを支える言語表現

語りの内容

ひとつの完結した世界

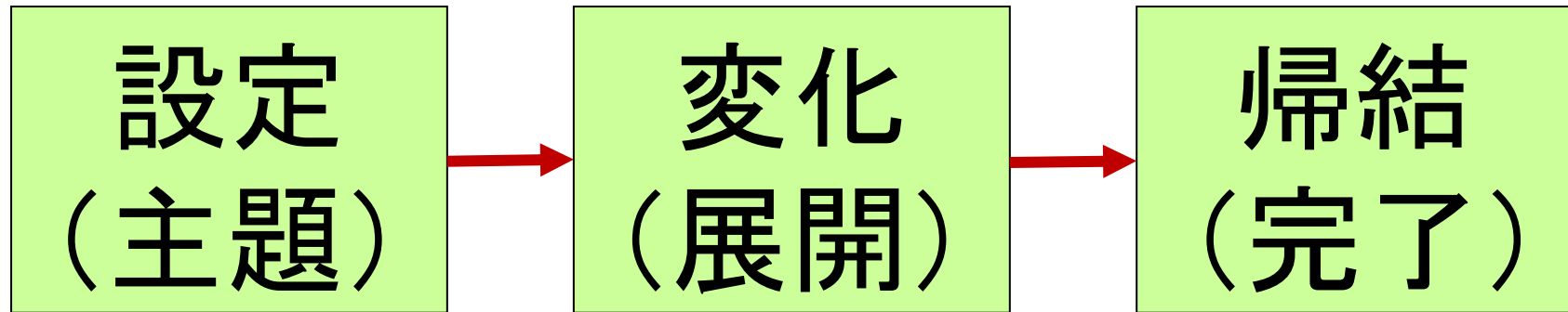


空間が広がり、時間が流れている

語り

空間と時間を作らなければならない

語りの出来事のプロセス



それぞれを表現する
語彙・文法が必要となる

設定(主題)状況の表現

事態が安定した状況にある

●ある・いる 存在・所在動詞

●～ている・～てある アスペクト

今日の3時間目に体育があったの。

うちの組に、たかし君っていう子が、
いるんだけどさ……

北の山の森に、ひとりの山男が、
暮らしていました。

10秒映画「玉」



白い玉がありました。

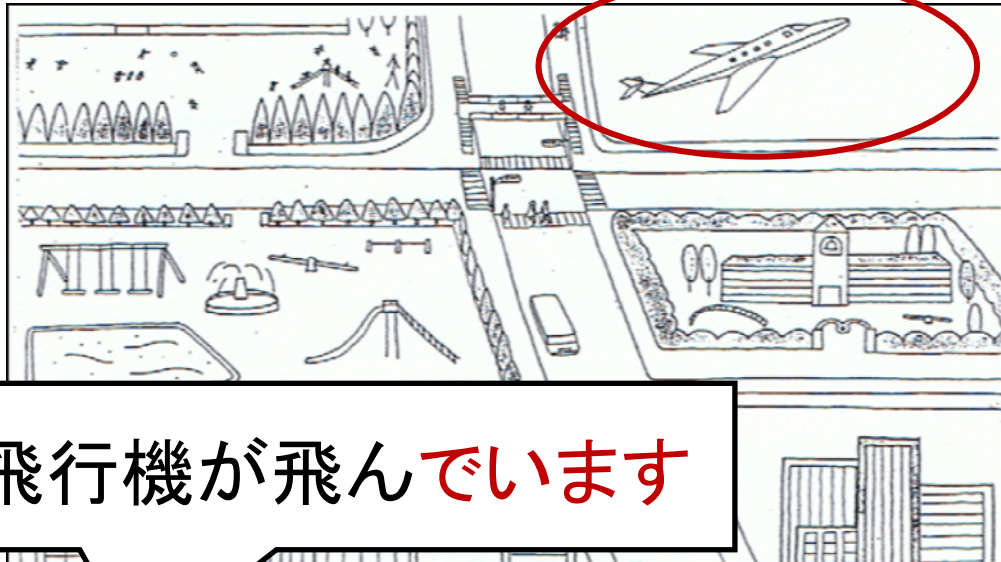
静的状況

10秒映画「魚」



小さい魚が泳いでいました。

動的状況



1枚絵の叙述

飛行機が飛んでいます



マックがあります

外を見てお話しを作ろう

変化(展開)の表現

静的な状態を動かす



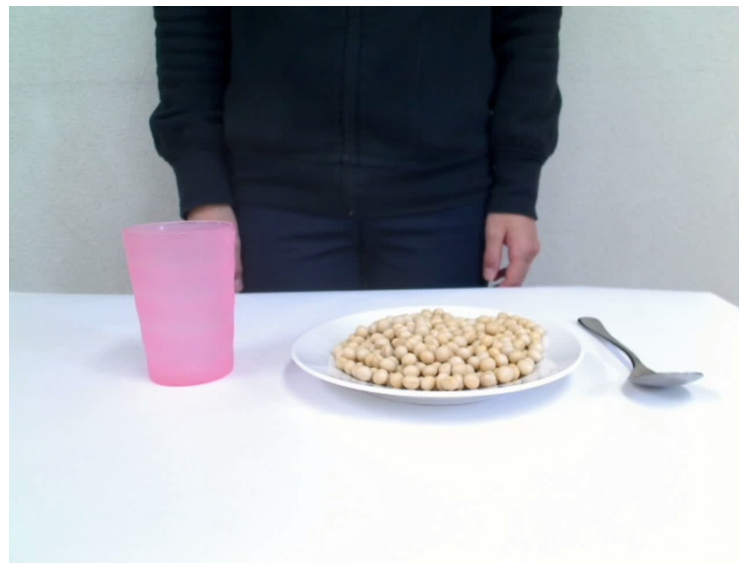
動詞

動詞は、語りの基本

10秒映画:「豆」



お皿に豆が入っていました。スプーンで1杯、豆をすくって、コップに入れました。コップを持ちあげると、豆がこぼれました。コップの底に、穴が開いていました。



動詞を、どのように習得させるか

動作は時間を持つもの

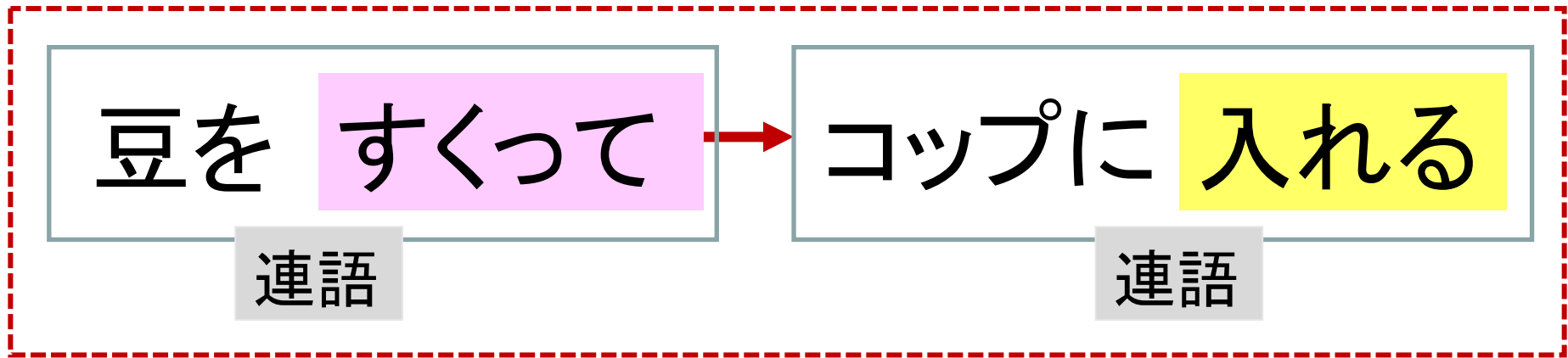


時間の推移を表現できる映像は
学習手段として有効



さらに

文脈を持った状況の中で、動詞に触
れることが、習得に効果的ではないか



ことばとことばは、つながりあって
それぞれの意味を支え、また育てて行く

文脈・系列の重要性

変化(展開)の表現

語りの中で時間を進めて行く

- 接続語

- * ことばや文をつなぐ言葉

- 複合語

- * 二つの言葉が合わさった言葉

● 接続語

動詞連用形＋て

「ごはん食べて、はみがいて、
おきがえしたの」

出来事を順送りに語れる



「当たり前」のことをテーマにしやすい
子どもの初期の語りを支える

「過去経験の語り」の変化

初期

* 否定的な経験を語るが多い

けんくんに、
ぶたれた

* 一般的な事柄を繰り返し語る

ごはんたべて、
はみがいて

日常的な事柄を抽象化・知識化

常識

* 特別なエピソードを語りだす

ネコが、
いたの

朝はいつもより早く出かけて行って
金は少ししか持って居ないから保土ヶ
谷迄買って汽車の中で絵を売って其
の金で鹿児島迄行って乗り越しをはら
おうと思って、汽車の中でしきし何枚
も絵をかいて居たら人がたくさんたか
つて見て居て……

山下清の文章

動詞連用形＋て の学習

「～て」での表現練習

- * 日常生活のスクリプトを、「～て」で説明
例：お風呂「服を脱いで、お湯に入って・・・」
- * 作業の手順を、「～て」で説明
「おりがみを切っ**て**、のりをつけれ**て**、貼る」
- * 10秒映画を、「～て」で説明

「～て」 練習課題

つたえるれんしゅう◎ やったことの つたえかたA

～て

※みぎのえを
きりとって、
じゅんばんに
はろう！

[Blank box for writing]



[Blank box for writing]



[Blank box for writing]



[Blank box for writing]



[Blank box for writing]



聞き手による、「～て」の誘導

C:「テレビ見た」

A:「それで？ テレビ見て・・・」

C:「テレビ見て・・・、おふろ入った」

～たら

C:「べんきょうしたたら、マックだよ」

● 接続語

動詞終止形＋と / すると

「ボタンを押すと、お湯が出る」
(当然の「と」)

「ボタンを押すと、バナナが出た！」
「ボタンを押した。すると、バナナが
出た！」 発見の「と」「すると」

10秒映画「玉」



白い玉がありました。その玉を割ると、
中から指輪が出て来ました。

10秒映画
「玉」



～と / すると の役割

当り前ではない、特別な出来事の
表現に適している

語りは、語りたい特別な
内容を有しているもの



子どもの語りの意欲・動機を支える

「過去経験の語り」の変化

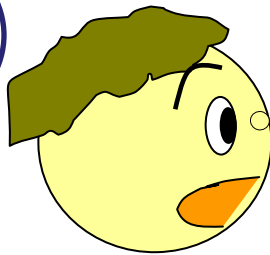
初期

* 一般的な事柄を繰り返し語る

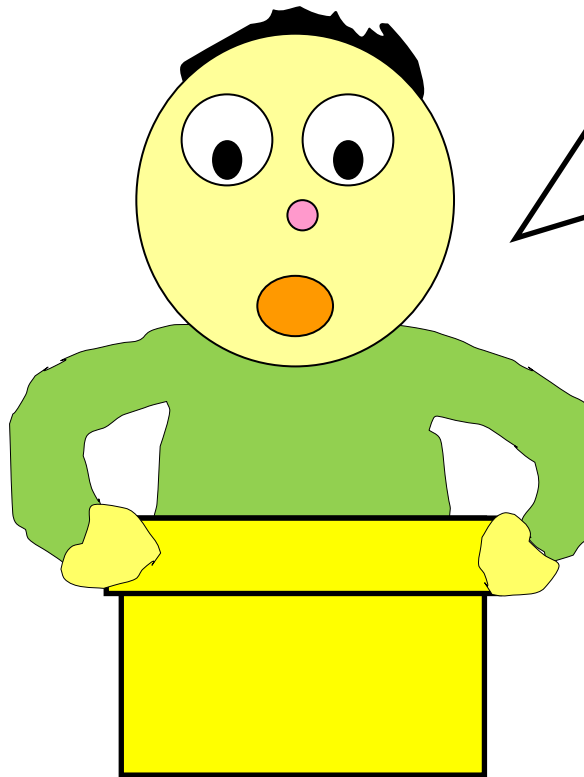


* 特別なエピソードを語りだす

あ！



〜と / すると の学習



はこを、
あけると……

順序の接続詞・副詞

①



②



③

まず、ごはん食べた。

それから、歯をみがいた。

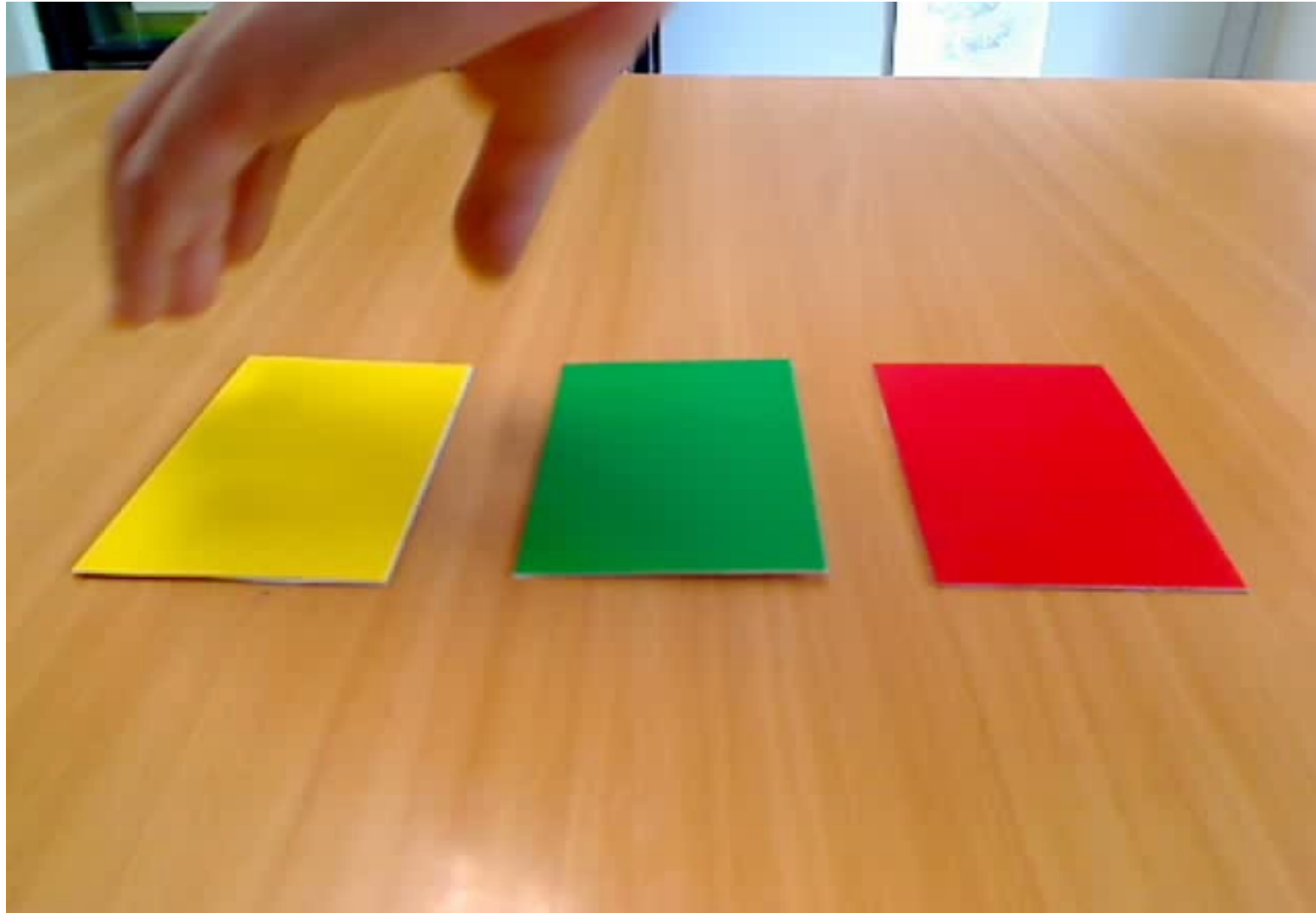
さいごに、きがえをした。

出来事を、番号順的に語れる

★文と文を接続する技法

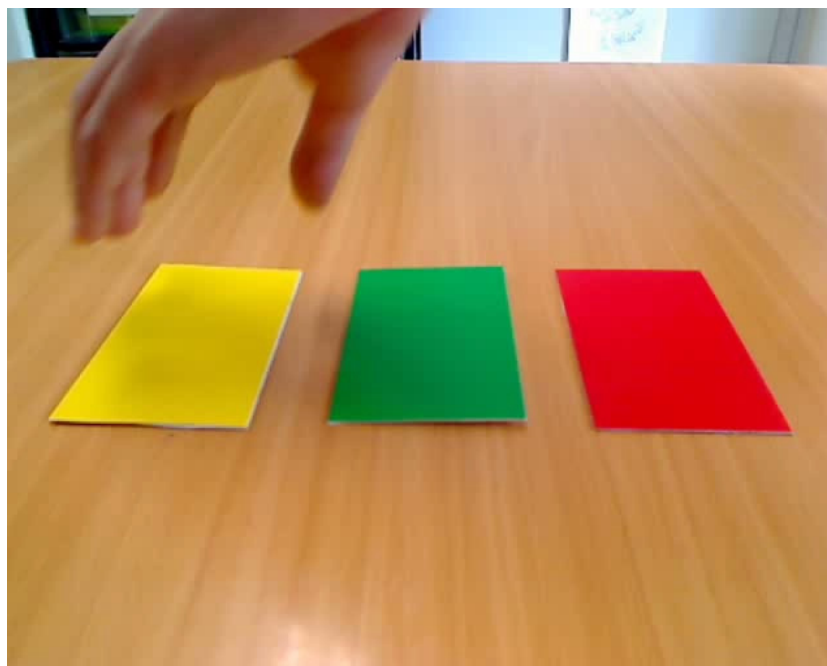
文から文章へ

10秒映画「カード」



カードが、3枚ありました。まず、黄色のカードをめくりました。すると、星が出てきました。つぎに、緑のカードをめくると、……さいごに、赤いカードをめくると、

10秒映画
「カード」



● 複合語

複合動詞

2つの動詞が結びついた動詞

飛ぶ＋上がる → 飛び上がる

降る＋出す → 降り出す

複合動詞の種類

2つの動詞の意味
が合わさっている

持ち上げる

投げ捨てる

動作のより細かな
叙述に重要

後ろに来る動詞が
特定の意味を表す

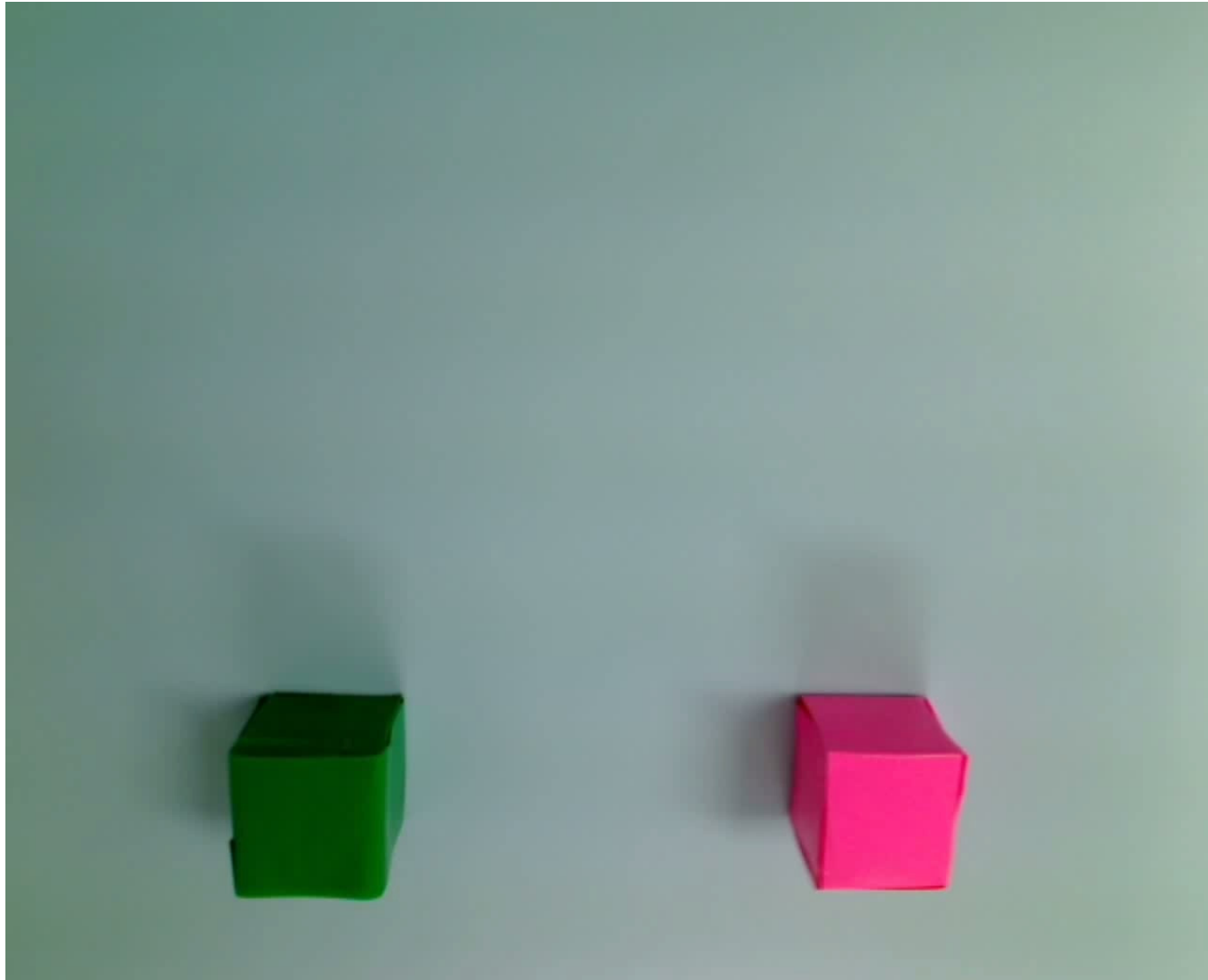
降り出す



開始の意味合い

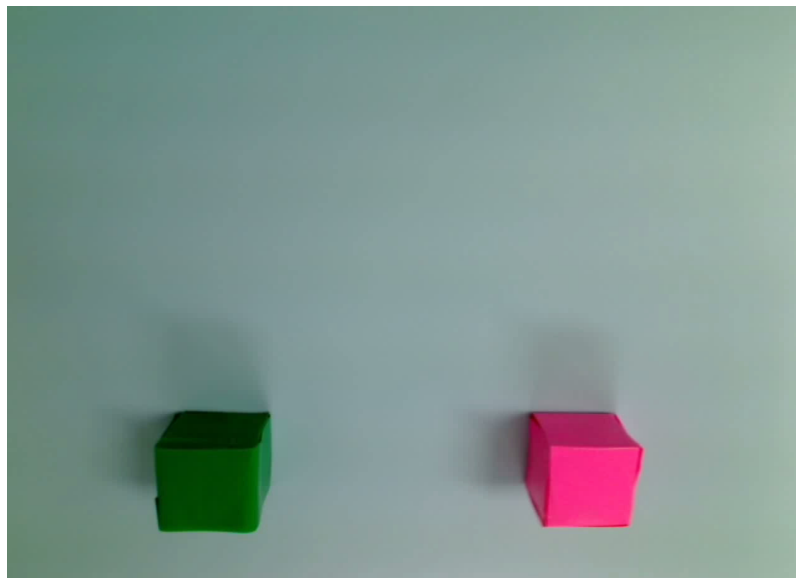
動作の
時間表現に重要

10秒映画「箱」



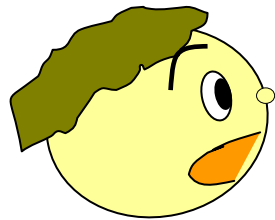
ピンクの箱と緑の箱がありました。
ピンクの箱が、緑の箱に近づいて、
ピタッとくっつきました。そうして、二
つの箱は、クルクルと回り出しました。

10秒映画
「箱」



日本語は複合語にあふれた言葉

複合語（名詞・動詞・形容詞）の
運用が表現を豊かにして行く



子犬が飛び出して、
走り回ったんだよ！

とくに複合動詞は、語りの世界を
空間的・時間的に支えて行く


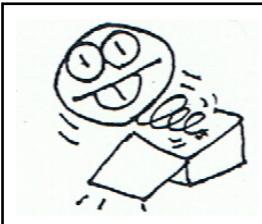


複合動詞の学習

■ 映像での学習

- * 2つの動詞が同時に生起する複合動詞は映像でなければ、表現しにくい

■ 連結形式の習熟

■ 連結形式の習熟

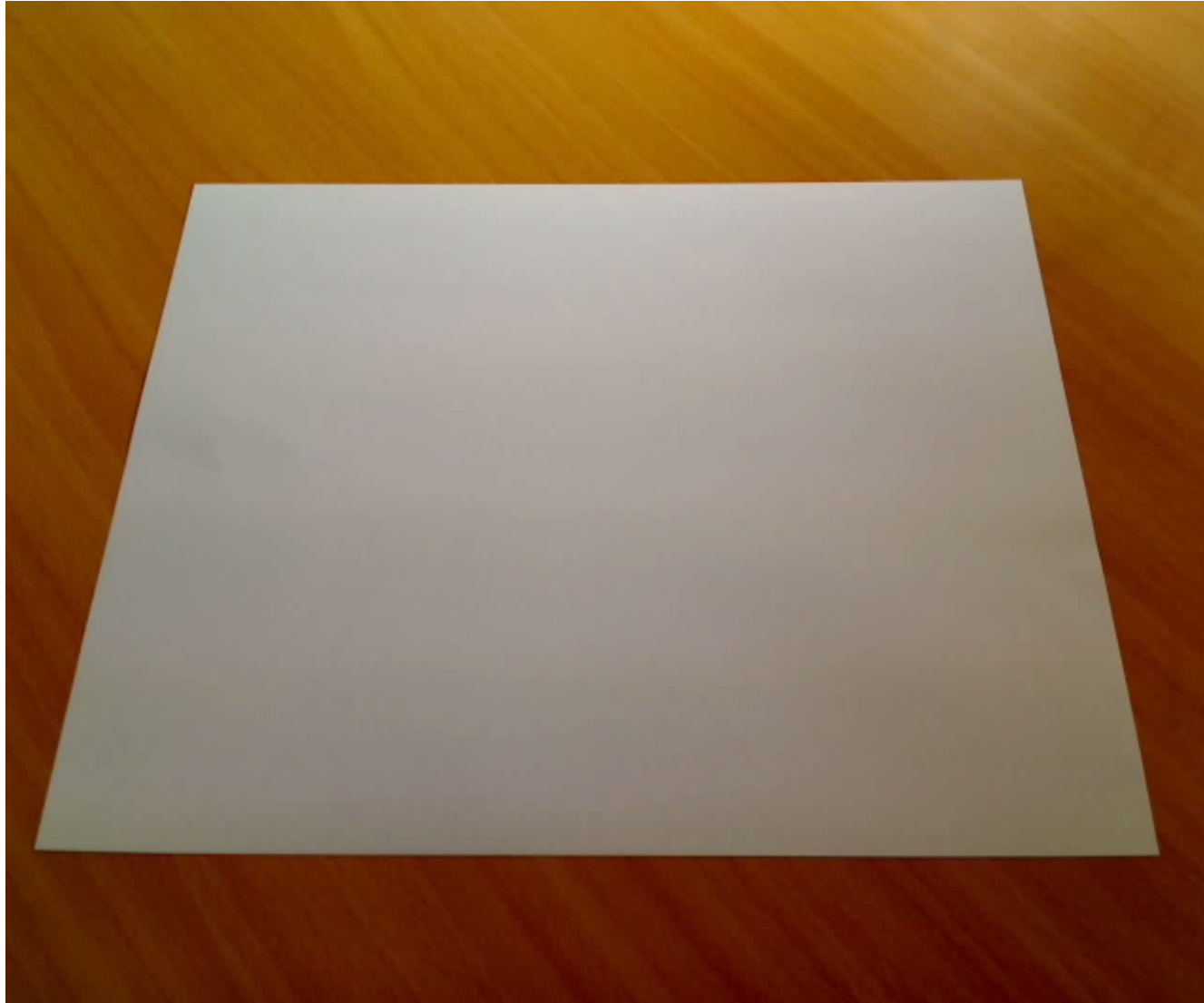
とぶ	+	こむ	→	とびこむ	■	
とぶ	+	うつる	→		■	
とぶ	+	かかる	→		■	
とぶ	+	だす	→		■	

帰結の表現

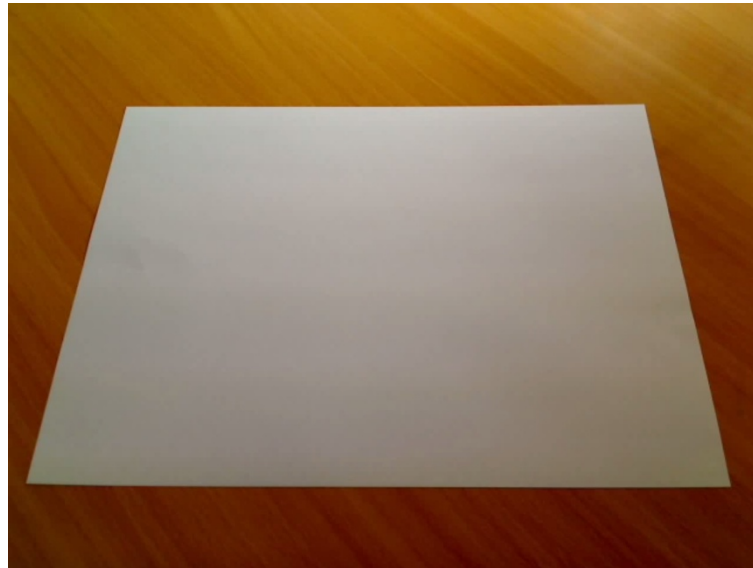
変化の結果、事態が再び
安定した状況に戻る

- ～になった／～なくなった
- ～てしまった(～ちゃった)
- ～て来る・～て行く

10秒映画「マル」



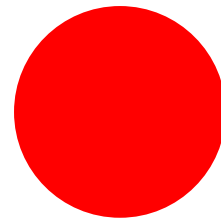
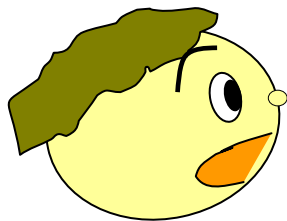
白い紙がありました。その紙に、
筆で、赤いマルを書きました。それから
紙を半分におりました。そうして、紙
を開くと、マルが2つになりました。



~になった / ~くなった

の学習

パワーポイントの利用



子どもの10秒映画文章化例から

10秒映画 「時計」



文章化例

時計がありました。3時ぴったり鳴っているのに、まだ鳴っていました。その時、ひっくり返したら時計が止まっていた。

時計がありました。3時ぴったり鳴っているのに、まだ鳴ってました。その時、ひっくり返したら時計が止まっていた。

時間表現の難しさ

鳴り出した → 鳴っている → 止まった

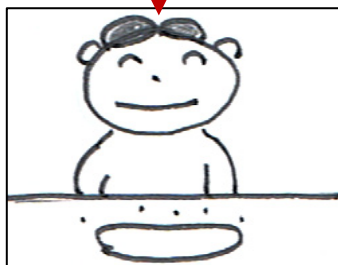
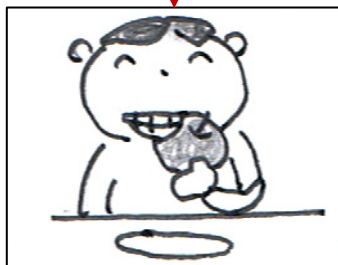
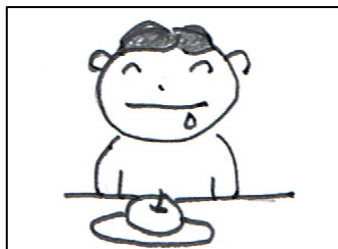
複合動詞

テイル形

瞬間動詞

すべて「テイル形」の継続相で表現

どんなふうに、いえばいいかな



時間表現の 練習課題

リンゴを、
食べはじめた。

リンゴを、
食べてしまった。

リンゴを、食べ
ようとしている。

リンゴを、
食べている。

10秒映画
「サイコロ」



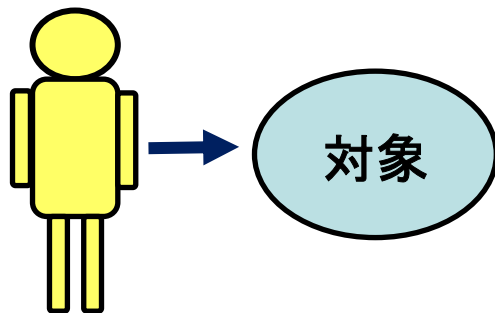
文章化例

おはしで、サイコロを乗りました。怪獣が来ました。そうして、サイコロを、倒れてしまいました。

おはしで、サイコロを**乗りました**。怪獣が来ました。そうして、サイコロを、押して、**たおれて**しまいました。

自動詞—他動詞のエラー

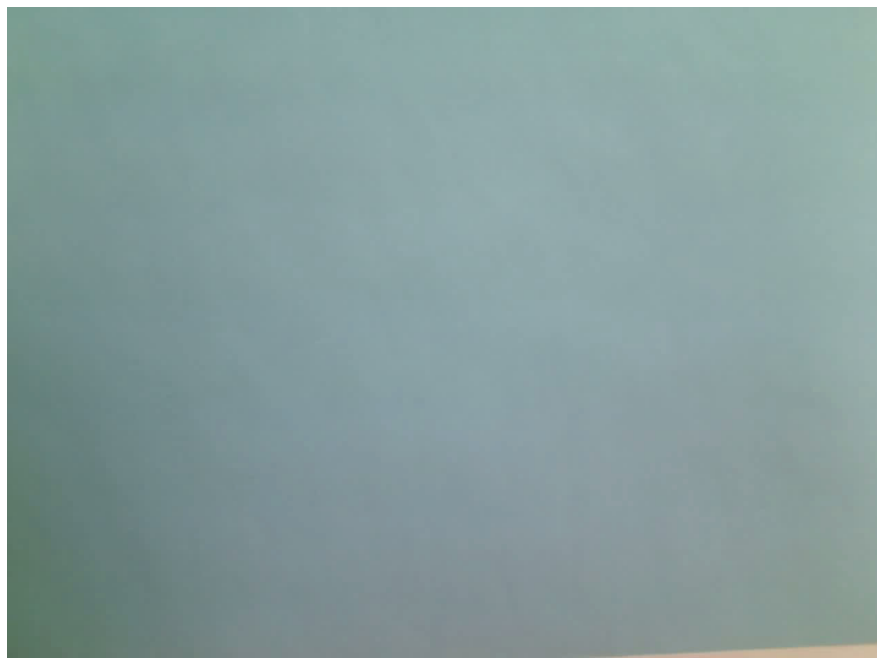
■ 乗る → 乗せる ■ 倒れる → 倒す



どの視点から見て語るか

意図・意思の洞察

10秒映画
「ボール」



文章化例

白いボールがありました。ボールを回しました。顔を見ました。パチンパチンと2回たたきました。そして、手がいたくなりました。

白いボールがありました。ボールを回しました。顔を見ました。パチンパチンと2回たたきました。そして、手がいたくなりました。

物語の主体はボール

* 動作主は背景化が自然

→ 視点・感覚のズレ

★ 自閉性障害を持つ人に多い

発達障害児の語りの特徴

どの視点で語っているのかが、
聞き手にわからないことが多い

- * 「あげもらい」「行く来る」などの事態
- * 時間表現

だれ・どの場所・いつ を視点にして
文章化するのか

日本語特有の難しさの問題

! 視点表示のあいまいさ(例:無主語文)

語りを育てる

2才頃から子どもは経験を語りだす

ことばの発達

- 名詞・動詞・形容詞の獲得
＝経験を語る素材となる
- 文法
＝時間・空間を動かし、話に秩序を与える

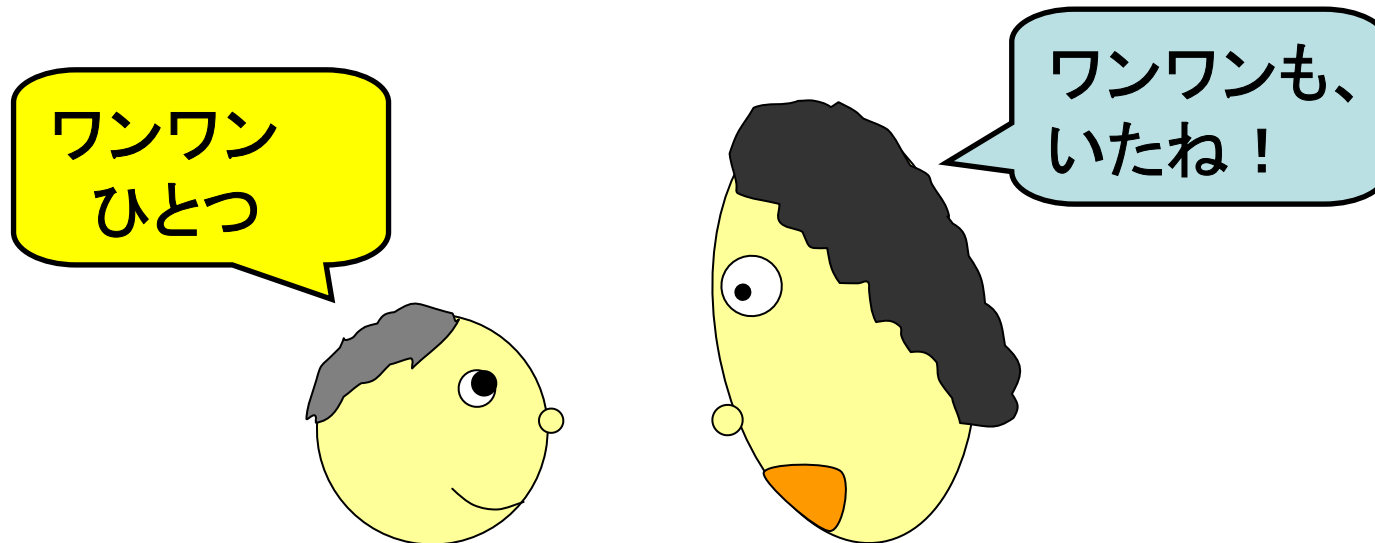
* 経験を「不正確」に
語りだす

大人の支援
共同想起

共同想起

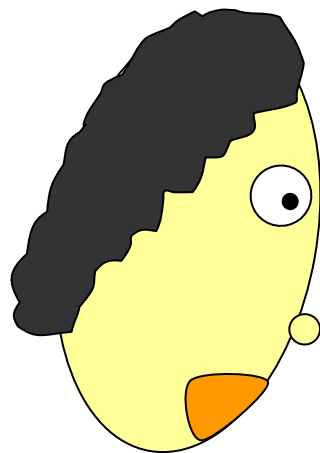
- 大人と子どもが、共有する経験を、協力して、思い出す

大人との適切な対話が、子どもの表出活動(語り)を支え、豊かにして行く

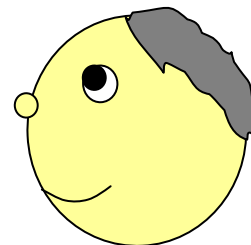


親の対応のスタイル

反復スタイル



精緻化スタイル



反復スタイル

- 子どもの発話を繰り返す
- 同じ質問を繰り返す



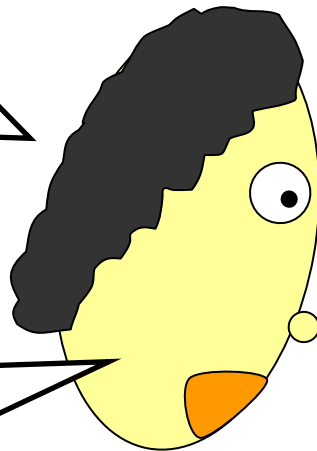
精緻化スタイル

- 情報が多く含まれる
- 新しい情報が付加される
- 様々な言い換えがある

ベンチのと
こ、いたね

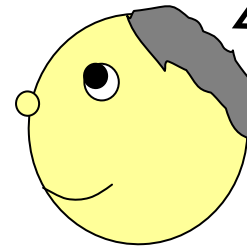
いたね。
ニヤーって
ないてたね

ピュッーって、
走ってたね



ネコい
た

ピュッー
って



精緻化スタイルの方が、
子どもの語りを高めやすい

語りを高める大人の援助 共同想起の手法

● 繰り返しによって子どもの発話を促す

* 「公園いったね」「公園いって…」

● 5W1Hの質問を行う

* 「どこで?」「だれだっけ?」

● 接続語を使って、尋ねる

* 「そして?」「それから?」「すると?」

●ことばの置き換えを行う

*「ボタンって」→「あ、倒れたんだ」

●新しい情報を加える

*「車のった」→「おじちゃんと車のったね」

●不明な部分をたずねる

*「それ、～ちゃん？」「どうして？」

聞き手の大切さ

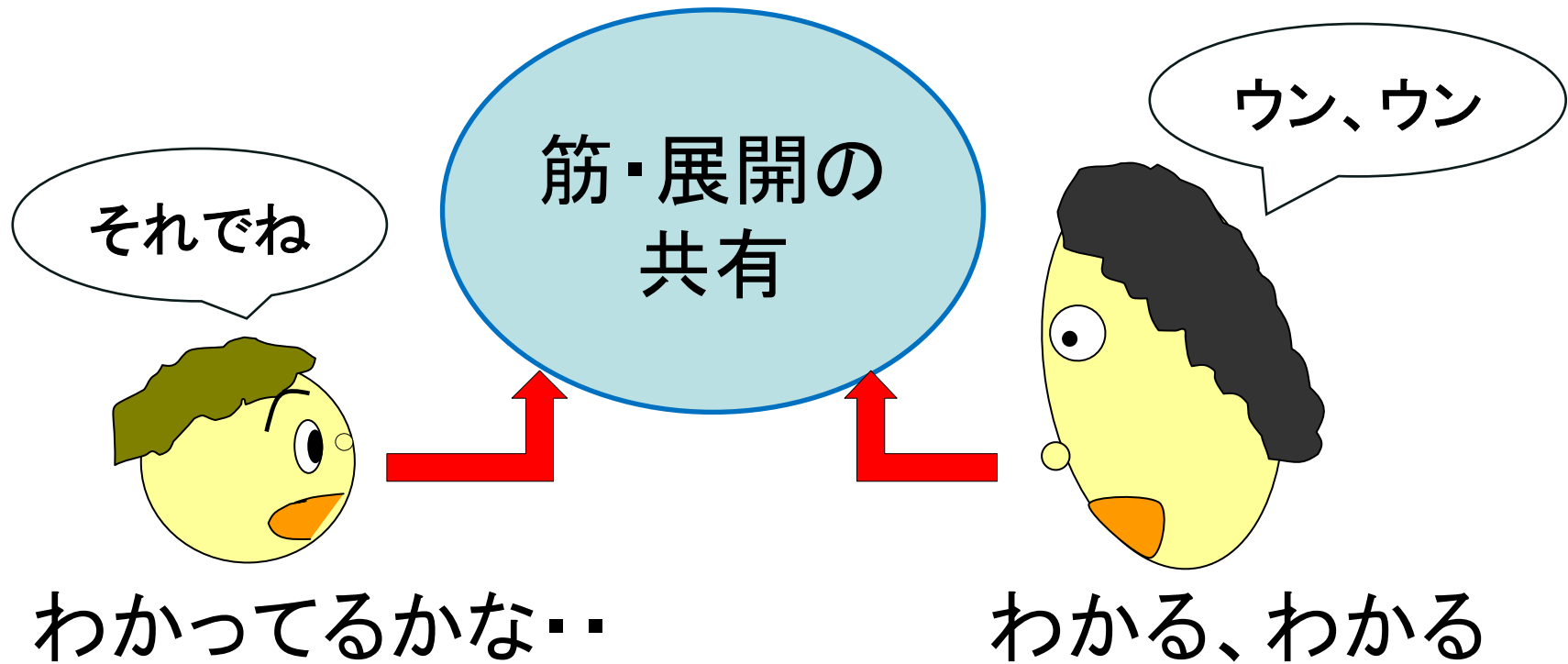
内田の著作より

熱心に語るためには、
熱心な聞き手が必要

あいづち・表情・うなづき・・・

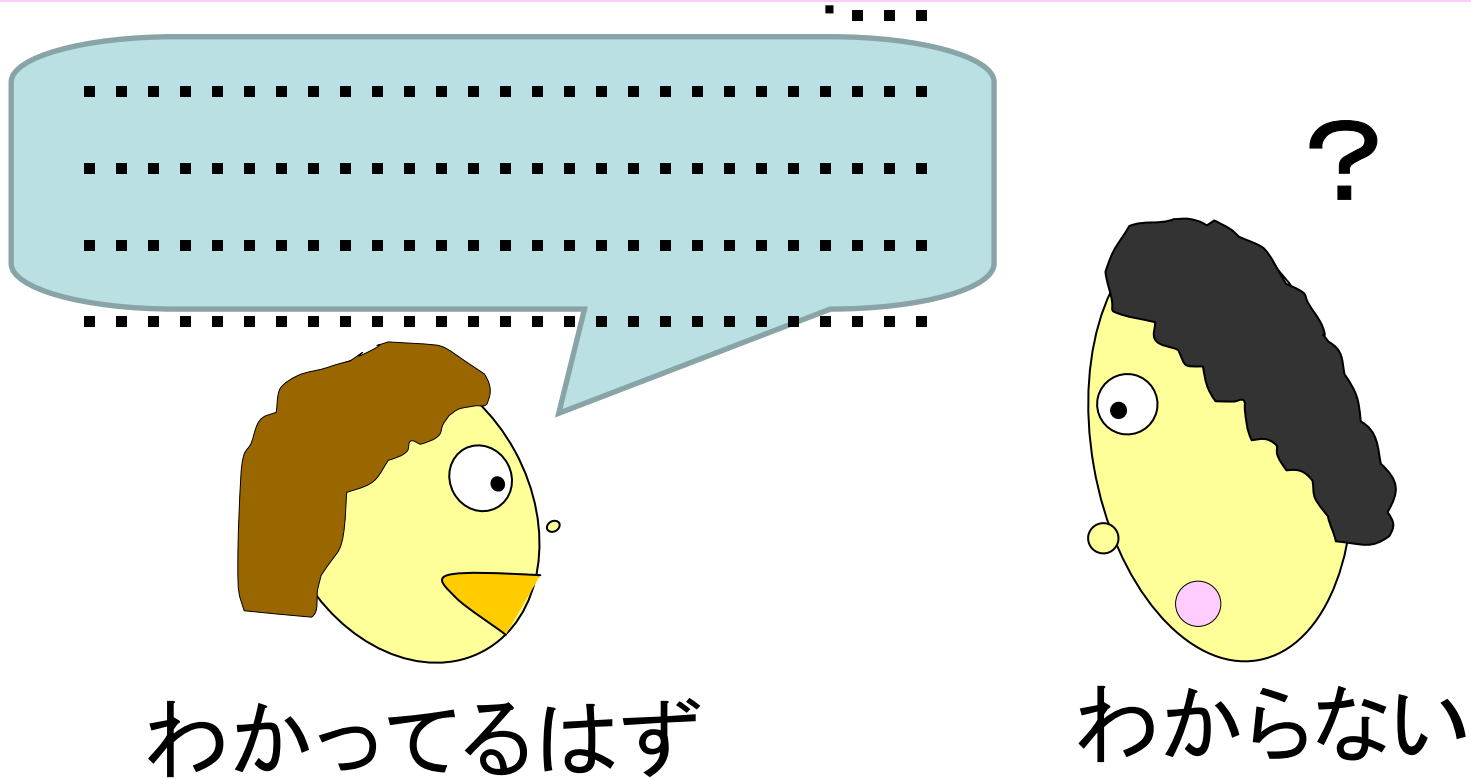
あいづちは語りに承認を与え、
語りの進行を制御する

語りは、語り手と聞き手の共同作業



語り手と聞き手は、相互に、内容をモニターしながら、相互に語りを支える

一方的に語り続ける人



語り手がモニター機能を働かせていない

語りの基盤となるもの

● 質問—応答

- ・記憶想起は不可欠

● 感想

- ・語りには動機・解釈が必要

● 報告

- ・箇条書き的報告：①～ ②～

ことばのテーブルでの報告練習

口頭作文

子どもに口頭で文を作らせる



指導者がPCに入力する



作成した文を読む

内容

その日のこと

* 平日モード・休日モード

特定のテーマ

* 例：インフルエンザ

* 平日モードの報告

きょうのこと

1時間目は算数でした。

2時間目は国語でした。

3時間目は体育で、なわとびをした。

.....

今日いちばんおもしろかったのは、
体育のなわとびでした。

授業の時間で、一日を枠組みする

* 休日モードの報告

きょうのこと

午前は、家でしゅくだいをしました。
おひるごはんは、やきそばを食べました。

午後は、おかあさんと、ジャスコに、
かいものに行きました。

昼をはさんで午前・午後で一日を枠組みする

* 特定の出来事・テーマの報告

なわとび大会のこと

2月15日の木曜日に、体育館で、ゲーム集会がありました。クイズをしました。3年2組が、ゆうしょうしました。ぼくたちの3年1組は、3位でした。

5W1Hを使って、まず全体の概要を述べる

俳句の学習意義

夏休み
海に行きたい
たのしいね

主題の提示

展開の試み

解釈の存在

内容の集約化

＝ 語りが育てるもの ＝

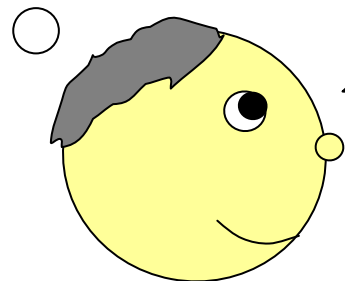
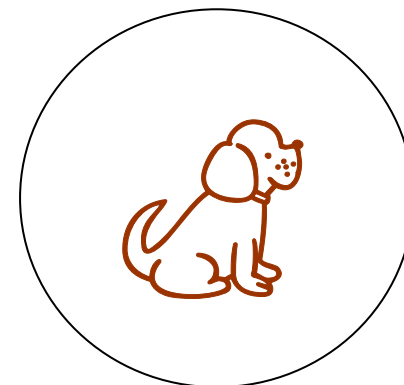
イメージ化能力

- わかり合うための、こころの力

知覚経験



眼前にないものを
想起し、言語化する



ワンワン
ひとつ



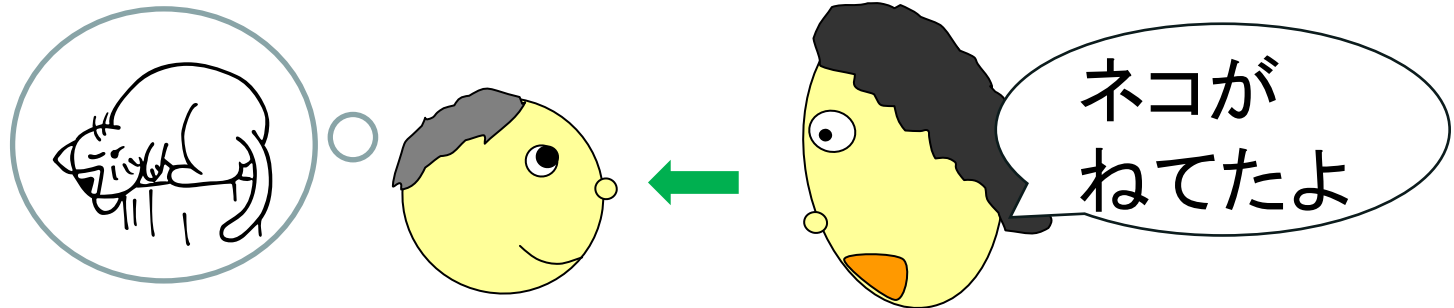
イメージ化

語る＝表現する活動が、
イメージ能力を高めて行く

経験を、ことばで語る機会を、
豊富に持つ



聞いた言葉や読んだ文からの
イメージ想起を助ける



他者の語りも、読解も、算数文章題も
自らの語りを通して、理解が向上する

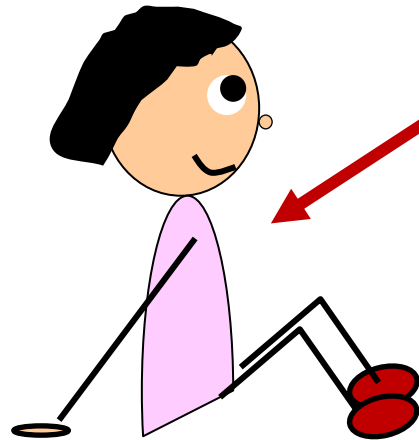
社会的存在

- 社会性を高めるものとしての語り

物語・音楽・映画・10秒映画...

共有・共感する世界
= 社会

他者



鑑賞し
楽しむ

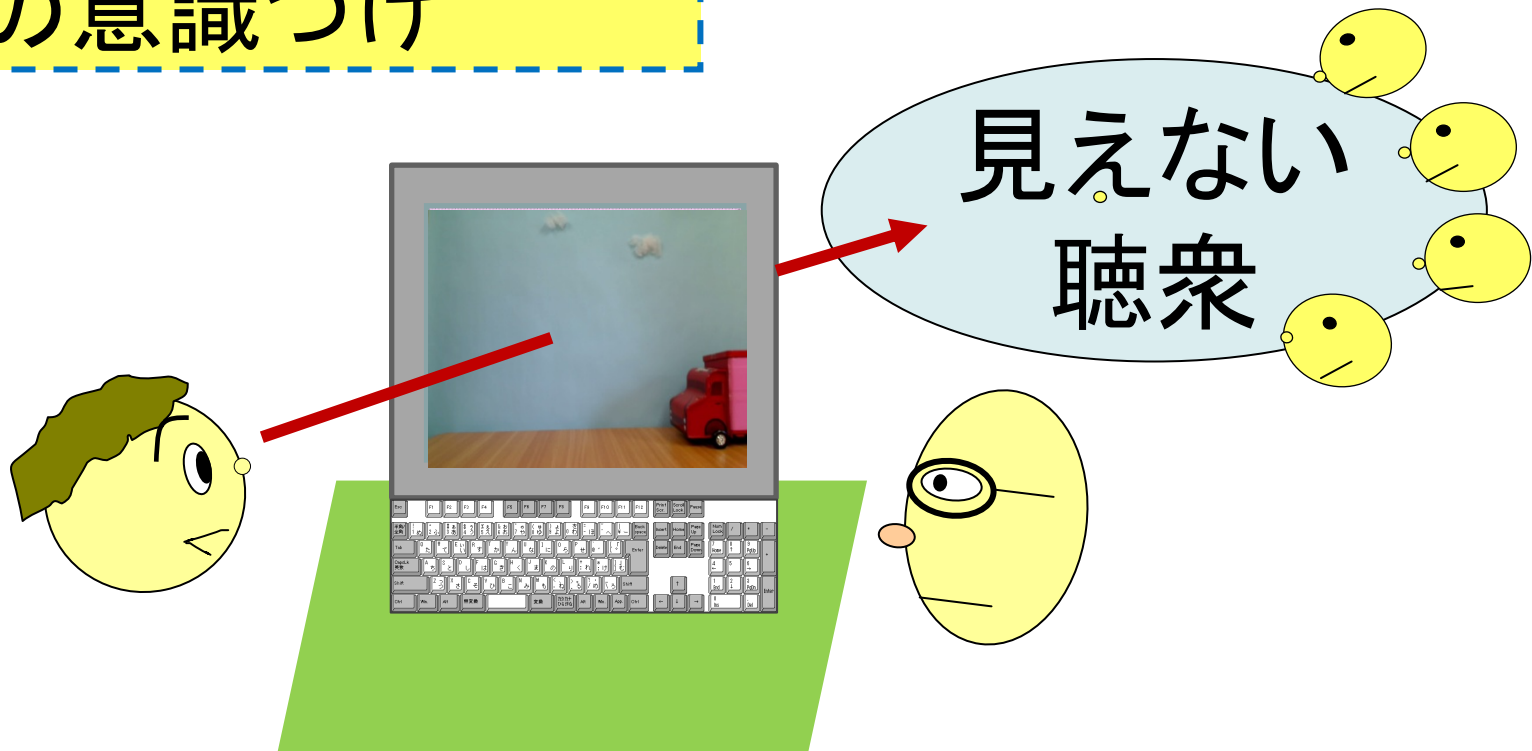
社会的存在としての
自分を自覚して行く

10秒映画の語りを丁寧体で作らせる理由

トラックが、とまりました

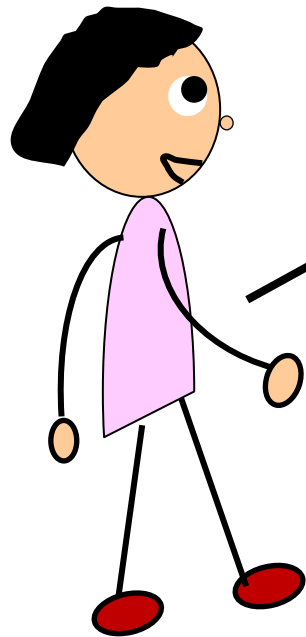
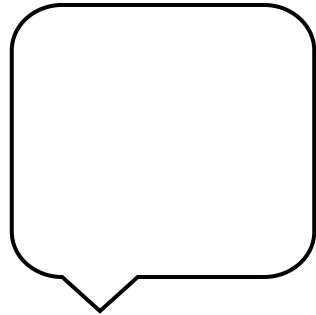
みんなに語る「お話し」
としての意識づけ

丁寧さを必要とする



経験を、物語を、語ること

わかるように語る



共有・共感する世界
= 社会

他者

社会に歩み出す行為

社会的存在の自覚

★ 【参考・引用図書および文献】

○『想像力』 講談社現代新書

○『言語発達心理学～読む書く話すの発達～』

(財)放送大学教育振興会

○『ことばの発達と障害1 ことばの発達入門』

大修館書店

○『幼児の日常生活叙述の発達過程』 風間書房

○『はじめての日本語教育』 アスク講談社

○『日本語の文法』 ひつじ書房

○「幼児・児童における時制表現の発達について」

横浜国立大学教育紀要本30

○「日本語の時制表現と事態認知視点」

九州工業大学情報工学部紀要 人間科学篇 14

○「言語発達と物語文の時制—日本語を母語とする子どもの場合—」